

Direct Calling for Microsoft Teams お申し込みの前に 3.5版



2025年4月1日
NTTコミュニケーションズ株式会社

はじめに

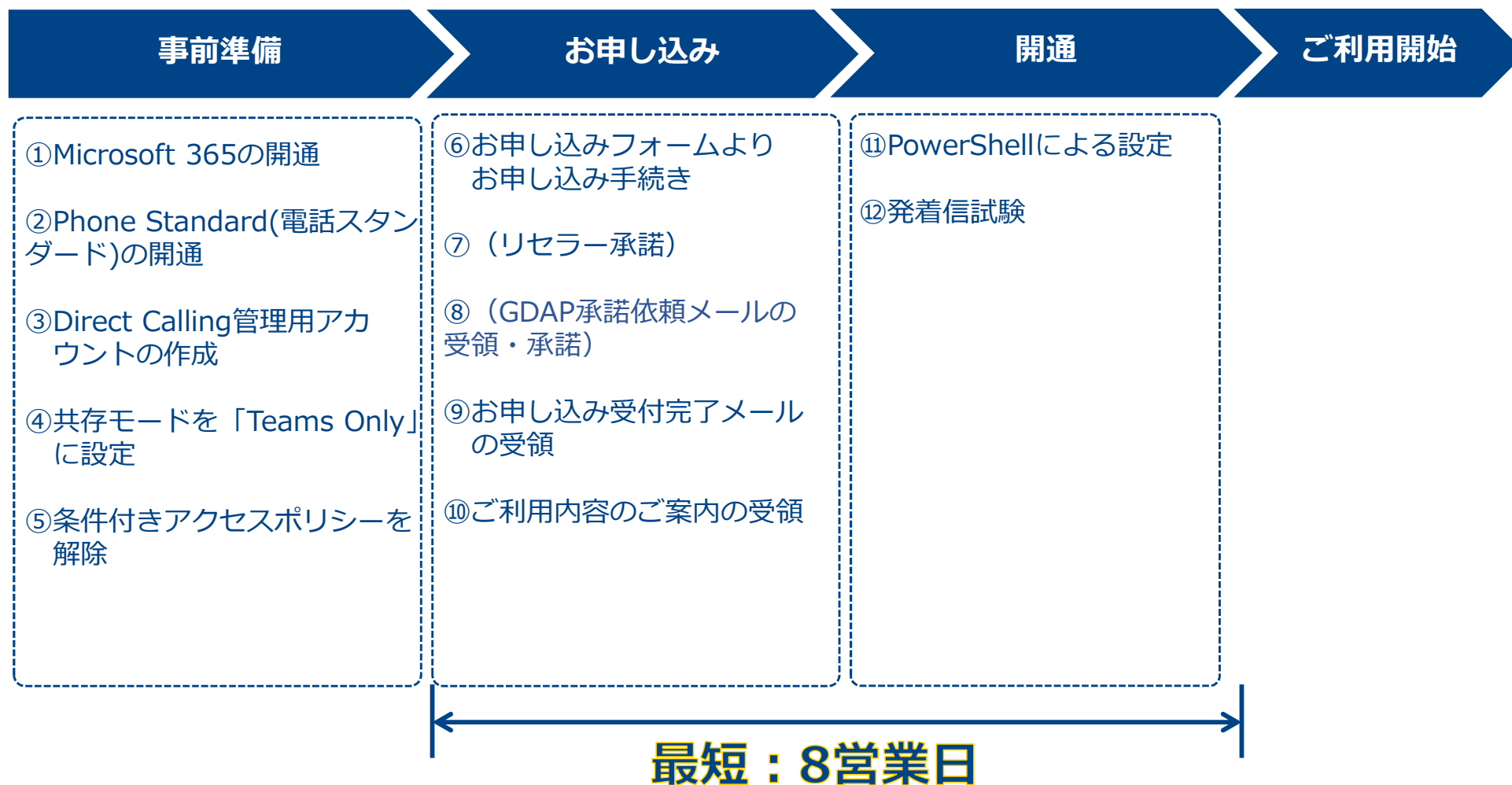
- ・本書では「Direct Calling for Microsoft Teams」を「Direct Calling」と略して表記している箇所があります。
- ・本書はDirect Callingをお申し込みいただく際にご留意いただきたい点についてまとめております。「ICT Business mall」からのお申し込みいただく際にご一読ください。
- ・お申し込みにあたっては、本書の他、
[IP通信網サービス契約約款 共通編](#)
[IP通信網サービス契約約款 別冊](#)
[重要事項説明書](#)
に記載されている内容をよくご確認の上、お申し込みいただけますようお願いいたします。

本資料について

1. お申し込みの流れ	P.4
2. お申し込みの前に	P.5～P.12
3. お申し込み受付完了～開通まで	P.13
参考1. Microsoft 365ユーザー作成方法	P.14～P.18
参考2. PowerShellによる設定イメージ	P.19～P.21
参考3. 発信不可の電話番号	P.22～P.24
参考4. 着信課金サービスへの発信	P.25～P.26
参考5. Microsoft 365ご契約国の確認方法	P.27～P.28
参考6. プロキシの設定をされている場合の留意点	P.29～P.30
参考7. Direct Calling管理用ユーザーの存在確認	P.31～P.32
参考8. 共存モードを「Teams Only」に設定する	P.33～P.36
参考9. Teams機能との競合について	P.37～P.38
参考10. ID変更・サービスご解約 Webお申し込みについて	P.39～P.46
参考11. 初期設定サポートツール	P.47～P.49
参考12. Web設定変更サイトについて	P.50～P.53
参考13. Direct Calling管理用ユーザーの管理者ロールについて	P.54～P.57
参考14. GDAP承認依頼メール	P.58～P.64
参考15. GDAP解除方法	P.65～P.73
参考16. GDAP承認状況確認方法	P.74～P.78
参考17. 設定がうまくいかない場合の対処法	P.79～P.80

1. お申し込みの流れ

(1) Direct Calling を導入いただくまでの流れ



各工程の作業内容・ご留意事項などについては次頁以降で解説します

2. お申し込みの前に

① Office 365/Microsoft 365 のライセンスをご用意ください

本サービスのご利用には、

本サービスのご利用には、1の契約に対し1のTeamsライセンスが付与されたユーザーまたはリソースアカウントを本サービスの管理用ユーザー（以下、**Direct Calling管理用ユーザー**）としていただく必要があります。

Direct Calling管理用ユーザー以外の一般ユーザーは、Phone Standard(電話スタンダード)ライセンスを付与可能なライセンスを保有していればご利用可能です。

■ 対応ライセンス例 ■ <https://www.ntt.com/business/services/voice-video/voip/directcalling/plan.html>

※ Microsoft 365の契約者とDirect Calling for Microsoft Teamsの契約者の名義は同一である必要はありません（異名義お申し込み可）

② Phone Standard（電話スタンダード）のライセンスをご用意ください

本サービスのご利用にはMicrosoft 365のオプションであるPhone Standard(電話スタンダード)のご契約が必要です。
Phone StandardはMicrosoft 365のライセンス購入元よりご購入いただけます。

Microsoft 365 ライセンス	購入元	Phone Standard	必要な手続き
対応ライセンス ⇒ こちら	NTT Com	有	NTT ComへDirect Callingをお申し込みください
		無	①NTT ComへPhone Standard(電話スタンダード)をお申し込みください ②①開通後、NTT ComへDirect Callingをお申し込みください
	他社	有	①リセラー承諾を実施してください ②NTT ComへDirect Callingをお申し込みください
		無	①リセラー承諾を実施してください ②Microsoft365ライセンス提供事業者へPhone Standard(電話スタンダード)をお申し込みください ③②開通後、NTT ComへDirect Callingをお申し込みください
非対応ライセンス or 無	NTT Com	—	①NTT ComへDirect Calling対応のMicrosoft 365 + Phone Standard(電話スタンダード)をお申し込みください ②①開通後、NTT ComへDirect Callingをお申し込みください
	他社	—	①Microsoft365提供事業者へDirect Calling対応のMicrosoft 365+Phone Standard(電話スタンダード)をお申し込みください ②①開通後、リセラー承諾を実施し、NTT ComへDirect Callingをお申し込みください

※Phone Standard（電話スタンダード）お申し込み時は「通話プランなし」をご選択ください。

2. お申し込みの前に

③ Direct Calling管理用ユーザーの作成を行ってください

本サービスのご利用には、お客さまのテナントに「Direct Calling」の専用ドメインを持つ「Direct Calling管理用ユーザー」が存在している必要があります。

「Direct Calling管理用ユーザー」とは

お客さまのMicrosoft 365テナント上で、Direct Callingの利用ができる設定（アクティベート）を行うために必要なものです。

Direct Callingのご利用開始後に、Direct Calling管理用ユーザーのみが行える設定などがあるわけではなく、あくまでテナント上に「Direct Callingの管理人」として存在させておく必要があるものです。

「Direct Calling管理用ユーザー」の条件

- ・1の契約に対し1のTeamsライセンスユーザーまたはリソースアカウントを本サービスの管理用とする
- ・Direct Calling管理用ユーザーは以下のライセンスが割り当てられたユーザーまたはリソースアカウントとする

アカウント種別	ライセンス	備考
ユーザーアカウント	Office 365 E1/E3/E5/A1/A3/A5/F3/G1/G3/G5 または Microsoft 365 E3/E5/A1/A3/A5/F1/F3/G3/G5/ Business Basic/Standard/Premiumライセンス	※ユーザーアカウントMicrosoft Teams電話リソースアカウントライセンスを付与しても設定（アクティベート）はできません
	Microsoft Teams Enterpriseライセンスを付与したユーザーアカウント（「Teamsなし」ライセンスご利用の場合など）	
	Microsoft Teams 共有デバイス ライセンス	
リソースアカウント	Microsoft Teams電話リソースアカウントライセンス※（旧名称 仮想ユーザーライセンス）	※本アカウントにはM365管理センターの管理者ロールは何も付与せず、ユーザーアカウントとしてください。

- ・Direct Callingご利用期間中、削除されないユーザーであること
- ・Direct Calling専用ドメインが設定されても問題のないユーザーであること
- ・クラウドADで作成されたユーザーであること ※ローカルADで作成されたユーザーではお申し込みできません
- ・TeamsとSkype for Business onlineサービスの利用が許可されていること

2. お申し込みの前に

「Direct Calling管理用ユーザー」に関する留意事項

Direct Calling管理用ユーザーに設定したユーザーのメールアドレスの@以降は専用ドメイン

「@(お客さま番号.direct-calling-teams00X.jp)」となり、社名などを利用したドメインを利用することができなくなります。そのため、実ユーザーではなく管理用として設定する専用のユーザーを作成してください。

※クラウドADとオンプレミスのADを併用している場合、クラウドAD上でMicrosoft 365ユーザーを作成してください。

作成するMicrosoft 365ユーザーのドメインは「~@***.onmicrosoft.comドメイン」「~@社名.com（各社で指定のカスタムドメイン）」のどちらでも可ですが、Microsoft 365管理センター上に存在する必要があります。存在しているかの確認方法はP.28をご確認ください。

例) Nコム商事 Direct Callingの契約番号 N123456789の場合。コム花子さんのアカウントをDirect Calling管理者として設定すると…
管理者権限設定前：コム花子 mail：hanako.com@ncomsyoji.com
管理者権限設定後：コム花子 mail：hanako.com@n123456789@direct-calling-teams001.jp というように変更になります。

上記の専用ドメインではメール送信が不可となっているため、本ドメインに設定後にメール業務に影響がある場合がございます。
また、コム花子さんが「Microsoft 365グローバル管理者」の場合、Microsoft 365管理センターへのログインIDも変更となります。

「Direct Calling管理用ユーザー」作成方法

- ① Microsoft 365管理センター（<https://admin.microsoft.com/>）にグローバル管理者権限でログイン
- ② 「ユーザーの追加」をクリックし、「姓：Direct Calling」「名：管理者」のように、Direct Calling管理者であることがわかるようプロフィールを設定する
- ③ ライセンスの利用場所として「日本」を選択
- ④ 作成したユーザーに「Office 365 E1/E3/E5/A3/A5/F1/F3」もしくは「Microsoft 365 E3/E5/A3/A5/F1/F3」のライセンスを紐づける
- ⑤ ユーザーの追加を完了する

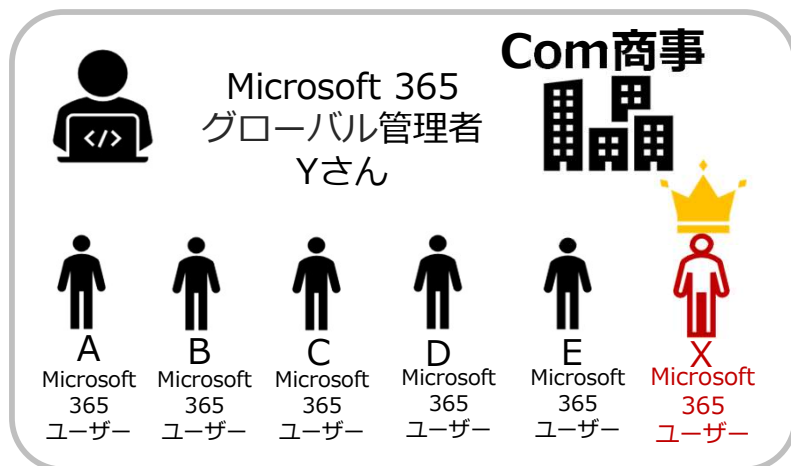
※作成したDirect Calling管理用ユーザーは開通するまでドメインの変更などを行わないでください

※Microsoft 365管理センターでDirect Calling管理用ユーザーの「Teams」と「SkypeOnline」のサービスが有効化されていることをご確認ください

※画面イメージ付きの詳細資料をP.14~に掲載

2. お申し込みの前に

Microsoft 365ライセンス付与の考え方



Microsoft365ユーザー = A～Eさん

- A～EさんがDirect Callingをご利用される場合、A～Eさんには
- ・電話スタンダードライセンスが付与可能なOffice 365 or Microsoft 365のライセンス
 - ・電話スタンダードのライセンス
 - ・Direct Calling ID (050番号) の3点セットが必要です

Microsoft365グローバル管理者 = Yさん

- YさんがDirect Callingを利用する場合 ⇒A～Eさん同様3点セットが必要
YさんがDirect Callingを利用しない場合 ⇒3点セットすべて不要

Direct Calling管理ユーザー = X (Microsoft 365グローバル管理者Yが新たに作成)

Direct Calling管理用Microsoft 365ユーザーアカウントとして作成されたユーザー (=X) は以下のライセンスが割り当てられたユーザーまたはリソースアカウントとします。

アカウント種別	ライセンス	備考
ユーザーアカウント	Office 365 E1/E3/E5/A1/A3/A5/F3/G1/G3/G5 または Microsoft 365 E3/E5/A1/A3/A5/F1/F3/G3/G5/ Business Basic/Standard/Premiumライセンス	※ユーザーアカウントMicrosoft Teams電話リソースアカウント ライセンスを付与しても設定（アクティベート）はできません ※本アカウントにはM365管理センターの管理者ロールは何も付与せず、ユーザーアカウントとしてください。
	Microsoft Teams Enterpriseライセンスを付与したユーザーアカウント（「Teamsなし」 ライセンスご利用の場合など）	
	Microsoft Teams 共有デバイス ライセンス	
リソースアカウント	Microsoft Teams電話リソースアカウントライセンス※（旧名称 仮想ユーザーライセンス）	

※外線発信はしない前提のため、Phone Standard(電話スタンダード)ライセンスとDirect Calling IDは不要

2. お申し込みの前に

④ 共存モードを「Teams Only」に設定してください

Direct Callingのご利用にあたっては**共存モードを「Teams Only」**としていただく必要があります。

本書のP.31-34をご確認の上、共存モードを「Teams Only」に設定してください。
なお、テナント内にSkype for Businessご利用ユーザーがいる場合には、Direct Callingをご利用するユーザを個別にTeams Onlyへ変更していただく必要があります。

⑤ 条件付きアクセスポリシーを解除

- ・ 条件付きアクセスポリシーを設定中の場合、リセラー承諾を行ってもNTT comがDirect Calling for Microsoft Teams利用に必要な項目の設定ができません。
(設定代行メニュー利用を含む)
- ・ Microsoft 365管理センターにて条件付きアクセスポリシーを解除していただくか、リセラー承諾なしのフローにてDirect Calling for Microsoft Teamsのお申し込みをお願いします。

2. お申し込みの前に

⑥ お申し込みフォームに必要事項をご入力

-よくあるご質問-

ご質問	回答
開通希望日はいつでも設定できますか？	開通希望日として設定できるのは「営業日」のみです。土・日・祝日・年末年始は設定できません。
ドメイン名を複数持っている場合、「Microsoft 365ドメイン名」にはどのドメインを記入すればよいですか？	Microsoft 365の管理センターにログインし、左のメニュー内にある[ドメイン] をクリックします。ドメインを確認し、末尾に（規定）とついているドメイン名をご記入ください。 ※カスタムドメインに（規定）とついている場合はカスタムドメインを記入、 onmicrosoft.comドメインに（規定）とついている場合にはonmicrosoft.comドメインを記入してください。
Direct Calling 管理用 Microsoft 365 ユーザーとは何ですか？	本書P.6にてご説明しております。 本書P.7にて「Direct Calling管理用」として作成いただいたユーザーをご記入ください。
お客さま番号とは何ですか？	Microsoft 365ライセンスの購入元がNTT Comの場合、ご契約時にN + 数字9桁のご契約番号が払い出されておりますので、そちらをご記入ください。
Phone Standard（電話スタンダード）とは何ですか？	Microsoft 365上で外線電話機能を提供する際に必要なPBX的な機能を提供するためのライセンスです。
Phone Standard（電話スタンダード）はどこで購入できますか？	Phone Standard（電話スタンダード）は、Microsoft 365のオプションライセンスのため、NTT ComからMicrosoft 365をご購入いただいているお客さまはNTT Comからご購入いただけます。 他社でMicrosoft 365をご購入いただいているお客さまはMicrosoft 365購入元からご購入ください。
Phone Standard（電話スタンダード）契約はDirect Calling開通後にお申し込みできますか？	Phone Standard（電話スタンダード）は、Direct Callingのお申し込みより前に開通させてください。
リセラー承諾は必須ですか？	リセラー承諾は、Direct Callingの開通時に必要な手続きを行うために必ず必要な工程となりますため、必ずリセラー承諾を実施してください。※ 詳細は本書P.11をご確認ください。 <small>※ただし、海外でご契約されたMicrosoft 365をご利用されている場合、リセラー承諾を実施することができません。この場合、通常とは開通フローが異なりますのでNTTコミュニケーションズドコモビジネスコンタクトセンター（0120-003300）へお問い合わせお申し込みをお願いします。</small>

2. お申し込みの前に

⑦ リセラー承諾を行ってください

リセラー承諾とは・・・

Microsoft 365の提供事業者は、自社の管理ポータル上で、自社からMicrosoft 365を購入したの情報管理を行うことができますが、リセラー承諾はこの管理権限を、お客さまのMicrosoft 365事業者に加え、NTT Comにも与えることを許諾する行為です。

お客さまにリセラー承諾いただくことで、お客さまのMicrosoft 365テナントに対し、Direct Calling for Microsoft Teamsの利用開始に必要な項目をお客さまに代わって設定します。設定に関わらないお客さまの情報は利用いたしません。

NTT Com以外の提供事業者からOffice 365/Microsoft 365ライセンスをご購入されている場合、Direct Callingのお申し込み時に必ずリセラー承諾を実施してください※。

※海外でご契約されたMicrosoft365をご利用のお客さまはNTT Comへのリセラー承諾を行うことができません。

海外でご契約されたMicrosoft365をご利用の場合、またはリセラー承諾自体を許容できない場合は、NTTコミュニケーションズドコモビジネスコンタクトセンター（0120-003300）よりお申し込みください。

お申し込みフォームの「リセラー承諾」欄からリセラー承諾画面へ遷移できます

リセラー承諾画面 (<https://www.ntt.com/business/services/voice-video/voip/directcalling/reselleraccept>)

1 Direct Calling for Microsoft Teamsの購入を希望されるお客さま

2 Microsoft サインイン

3 請求対象アカウント

4

2. お申し込みの前に

⑧ GDAP承諾のメールを受領し、承諾をおこなってください

GDAP承諾メールが届いたら本資料の【参考13】の手順に沿って、処理を実施してください。
※Direct Callingをすでにご利用中の場合（過去にリセラー承諾を実施していただいた場合）、
またはNTT ComからM365ライセンスを購入されている場合には、本ご対応は不要な場合もあります。
処理が不要な場合には、メールはお送りしませんので、本項目対応は不要です。

- ❗ GDAP承諾をいただかないとDirect Callingの開通処理を進められませんのでご注意ください。
- ❗ Direct Calling開通スケジュールにはGDAP承諾の工程は含まれません。

GDAP承諾とは・・・[詳細な委任された管理者特権 \(GDAP\) の概要 - Partner Center | Microsoft Learn](#)
Microsoft社の仕様変更により、新規ご契約時にはDirect Callingの開通処理をする上で
必要なアクセス権（GDAP）をNTT Comに与えていただくためのお客さま承認手続きを
実施していただくことが必要となりました。つきましては、承認いただけませんとDirect Callingを
提供することができなくなるため、大変お手数ではございますが、承認お手続きをお願いします。

- ❗ GDAPを解除されたいお客さまは本資料の【参考15】の手順に沿って、解除の処理を実施ください。
一度承諾いただいている場合でもGDAPが解除されている場合は、次にDirect Callingの新規N番での
お申し込みをいただく場合に再度GDAP承諾が必要となります。

⑨ 受付完了メールの受領

お客さまからのお申し込みの受付が完了したら、受付完了のメールを送付します。
受付完了メールの受領をもって、お申し込みが受付完了となります。

3. お申し込み受付完了～開通まで

⑩ ご利用内容のご案内の受領

ご利用内容のご案内は、お客さまのお申し込みが受付完了されてから通常6～7営業日でご利用内容のご案内がZipファイルが添付されたメールが送付されます。メールに添付されたZipファイルを解凍してご利用内容のご案内をご確認ください。Zipファイルを解凍するパスワードはお申し込みフォームに記載いただいたものです。ご利用内容のご案内には、払い出された電話番号や設定方法のマニュアルのダウンロード先などが記載されています。

 **ご利用内容のご案内に記載された「基本契約ID」は払い出された電話番号の最若番が指定されます。基本契約IDは、Direct Callingのご利用期間中、変更や削除ができませんのでご注意ください。**

⑪ PowerShellによる設定

ご利用内容のご案内がお手元に届きましたら、PowerShellにて、お客さまのTeams IDとDirect Calling ID（050番号）を紐づける設定を行ってください。**設定の反映には最大24時間かかります。（Microsoft社の仕様）**

※Powershellとは？ Powershellの設定イメージは本書【参考2】ご参照ください。

初期設定サポートツールを利用すると、お客さま自身が直接コマンドを入力する必要がなくPowerShellの設定ができます。PowerShellによる設定を弊社で代行して実施することも可能ですが（有料：55,000円/契約・回）、Webからのお申し込みでは設定代行をお申し込みいただくことはできません。設定代行をご希望される際は、NTTコミュニケーションズドコモビジネスコンタクトセンター（0120-003300）へお電話いただき、ドコモビジネスコンタクトセンターからお申し込みください。

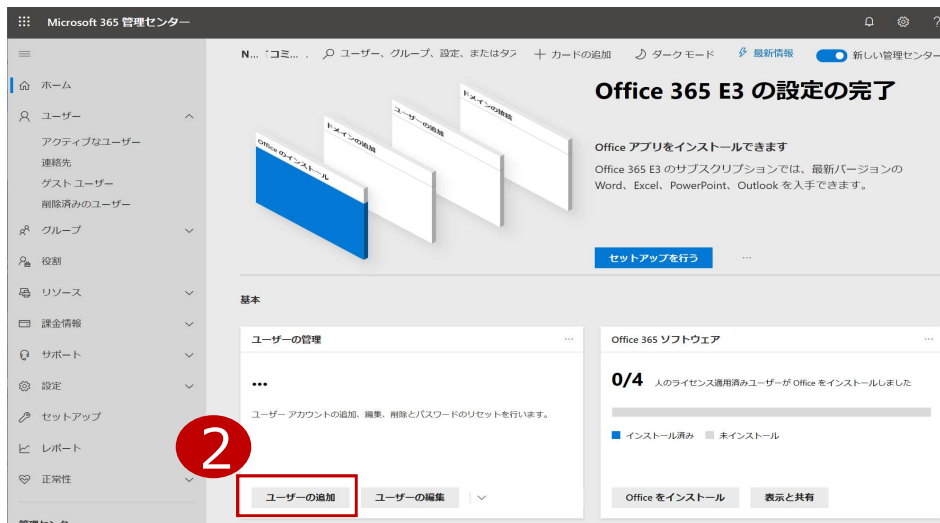
⑫ 発着信試験

ご利用の端末でTeamsを立ち上げ、「通話」画面に遷移するとダイヤルパッドが表示されます。発着信ができることをご確認ください。発着信できない、ダイヤルパッドが表示されないなどの場合、巻末の確認事項一覧ご確認ください。（詳細P.61）

参考1. Microsoft 365ユーザー作成方法

参考1. Microsoft 365ユーザー作成方法(1/4)

1. <Microsoft365 管理センター> を開く
<https://admin.microsoft.com/>



2. 「ユーザーの追加」をクリックする

3. 「姓」「名」「表示名」を記入する

「姓：Direct Calling」「名：管理者」
「表示名：Direct Calling管理者」などわかりやすいもの

4. 「ユーザー名」を記入する

※「DirectCallingadmin」などわかりやすいものがおすすめ

5. 「自分でパスワードを作成する」を選び、パスワードを入力する

参考1. Microsoft 365ユーザー作成方法(2/4)

【Office 365 E1とE3の場合】

製品ライセンスの割り当て

このユーザーに適用するライセンスを割り当てます。

場所の選択 *

日本

ライセンス (2) *

☒ ユーザーに製品ライセンスを割り当てる

☐ Microsoft Power Automate Free
10000/10000 個のライセンスが利用可能

☒ Microsoft Teams 電話スタンダード
0/5 個のライセンスが利用可能

☐ Microsoft Teams 電話スタンダード - 仮想ユーザー
2/6 個のライセンスが利用可能

☒ Office 365 E1
0/4 個のライセンスが利用可能

☐ Office 365 E3
利用できるライセンスがありません。追加のライセンスを購入する場合は、パートナーにお問い合わせください。

☐ Office 365 E5
利用できるライセンスがありません。追加のライセンスを購入する場合は、パートナーにお問い合わせください。

☐ 製品ライセンスなしでユーザーを作成する (推奨されません)

戻る 次へ キャンセル

6. 「場所の選択」をする

7. 「Microsoft 365 電話スタンダード」と「Office 365 E1」or「Office 365 E3」にチェックを入れる

8. 「次へ」をクリックする

【Office 365 E5の場合】

製品ライセンスの割り当て

このユーザーに適用するライセンスを割り当てます。

場所の選択 *

日本

ライセンス (2) *

☒ ユーザーに製品ライセンスを割り当てる

☐ Microsoft Power Automate Free
10000/10000 個のライセンスが利用可能

☒ Microsoft Teams 電話スタンダード
0/5 個のライセンスが利用可能

☐ Microsoft Teams 電話スタンダード - 仮想ユーザー
2/6 個のライセンスが利用可能

☒ Office 365 E1
0/4 個のライセンスが利用可能

☐ Office 365 E3
利用できるライセンスがありません。追加のライセンスを購入する場合は、パートナーにお問い合わせください。

☐ Office 365 E5
利用できるライセンスがありません。追加のライセンスを購入する場合は、パートナーにお問い合わせください。

☐ 製品ライセンスなしでユーザーを作成する (推奨されません)

戻る 次へ キャンセル

6. 「場所の選択」をする

7. 「Office 365 E5」にチェックを入れる
※「Office 365 E5」はすでに電話スタンダードが搭載されています。

8. 「次へ」をクリックする

参考1. Microsoft 365ユーザー作成方法(3/4)

ユーザーの追加

基本
製品ライセンス
オプションの設定
完了

オプションの設定

このユーザーに割り当てる役割を選択して、追加のプロファイル情報を入力できます。

役割 (ユーザー: 管理アクセス許可なし) ▼

プロフィール情報 ▼

戻る 次へ

9. 「次へ」をクリック

ユーザーの追加

基本
製品ライセンス
オプションの設定
完了

あと少しで完了です - 確認して追加を完了してください

割り当て済みの設定

このユーザーの追加を完了する前に、ユーザーのすべての情報と設定を確認してください。

表示名とユーザー名
trial 08
trial08@vvttrialdc.onmicrosoft.com
[編集](#)

パスワード
種類: カスタム パスワード
[編集](#)

製品ライセンス
Office 365 E5
[編集](#)

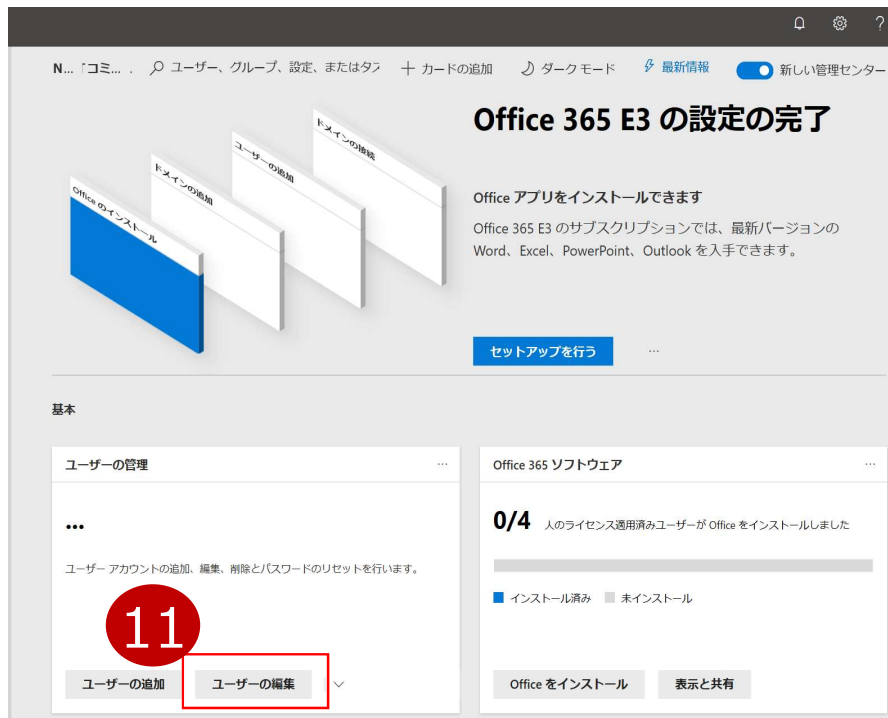
役割 (既定)
ユーザー (管理センターに対するアクセス許可なし)
[編集](#)

戻る 追加の完了

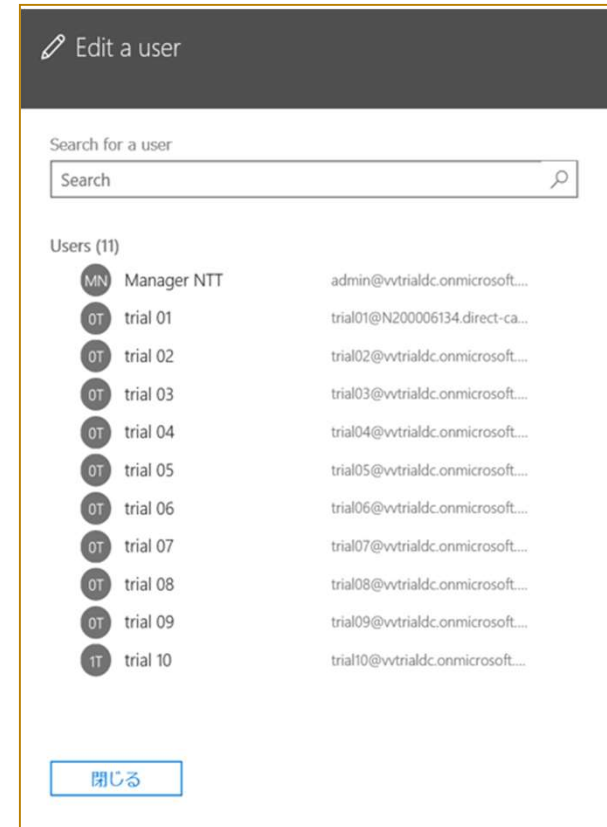
10. 「追加の完了」をクリック

「管理センター」での設定は完了

参考1. Microsoft 365ユーザー作成方法(4/4)



11. 登録ユーザーの確認をするには
「ユーザーの編集」をクリックする



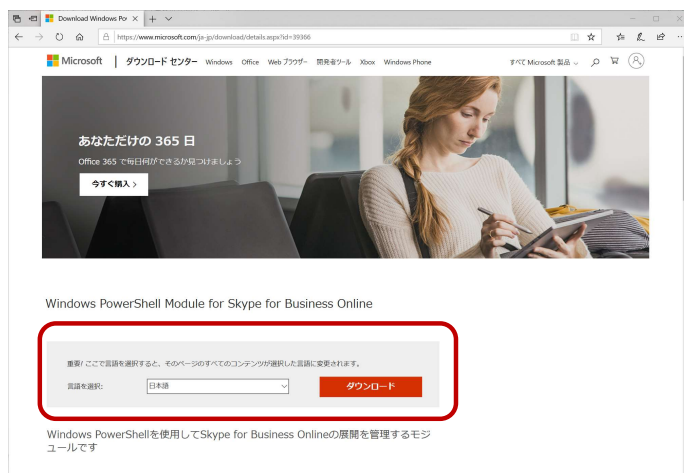
- ・登録したユーザーのリストが表示されます。
- ・編集する場合は、該当ユーザーをクリックする。

参考2. PowerShellによる設定イメージ

参考2. PowerShellによる設定イメージ (1/2)

◆PowerShellとは・・・

Microsoft 365上のさまざまな機能を設定するためのツールで、コマンドを入力して設定を行うものです。Direct Callingの設定を行うために必要なコマンドと、設定手順書はご利用内容のご案内に記載されたURLから入手することができます。

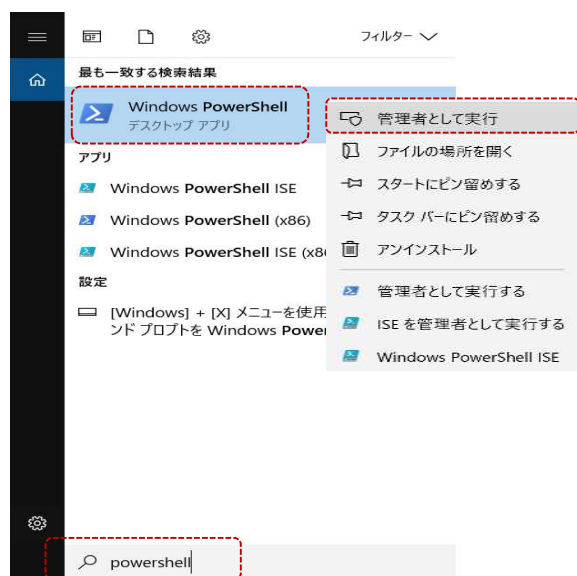


1. 用意したデバイスに「Windows PowerShell 5.1」をインストールします (参照URL)

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/skypeforbusiness/set-up-your-computer-for-windows-PowerShell/download-and-install-windows-PowerShell-5-1>

2. 続いて、Microsoft Teams PowerShellをインストールします。 (参照URL)

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/microsoftteams/teams-powershell-install>



3. Windows PowerShellを使用してSkype For Business Online管理センターに接続します

Windows PowerShellを**管理者として**実行します。

Windows>スタートメニュー>①“PowerShell”を検索>②“Windows PowerShell”を右クリック>③[管理者として実行する]を選択します。



PowerShell設定画面の一例

```
PS C:\windows\system32> Set-ExecutionPolicy RemoteSigned
>>

実行ポリシーの変更
実行ポリシーは、信頼されていないスクリプトからの保護に役立ちます。実行ポリシーを変更すると、about_Execution_Policies
のヘルプ トピック (https://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=135170)
で説明されているセキュリティ上の危険にさらされる可能性があります。実行ポリシーを変更しますか?
[Y] はい(Y) [A] すべて続行(A) [N] いいえ(N) [L] すべて無視(L) [S] 中断(S) [?] ヘルプ (既定値は "N"): Y
PS C:\windows\system32>
```

```
PS C:\windows\system32> Import-PSSession $Session -AllowClobber
>>

ModuleType Version Name ExportedCommands
-----
Script 1.0 [REDACTED] {Clear-CsOnlineTelephoneNumberReservation, ConvertTo-JsonForPSW...
```

上記のようなコマンド入力画面で、

- 初期設定時は20個弱のコマンドを入力
- 初期設定に引き続き番号紐付けを行う場合、1番号あたり2つのコマンドを入力

具体的な設定手順は、ご利用内容のご案内にてご案内します。

※画面遷移付きで、入力するコマンドをすべて網羅したマニュアルをご用意しています。

参考3. 発信不可の電話番号

参考3. 発信不可の電話番号（1/2）

番号	サービス名	DC発	備考
100	100番通話	×	
102	非常・緊急扱い通話	×	
104	番号案内	×	
106	コレクトコール(コミュ二ケータ扱い)	×	
107	新幹線列車通話	×	
108	自動コレクトコール	×	
110	警察通報	×	
111	線路試験受付	×	
1111	開通確認試験用	○	
113	故障受付	×	
114	お話し中調べ	×	
115	電報受付	×	
116	営業受付	×	
117	時報	○	※2023年9月以降順次、発信不可になる予定です
118	海上保安	×	
119	消防通報	×	
122	固定優先解除	×	
125	でんわ会議	×	
131	通話料分計	×	
135	特定番号通知機能	×	
136	ナンバーアナウンス	×	
141	でんわばん/二重番号サービス	×	
142	ボイスワープ	×	
143	ドライブモード	×	
144	迷惑電話お断り	×	
145	キャッチホン2	×	
146	キャッチホン2	×	

番号	サービス名	DC発	備考
147	ボイスワープセレクト/なりわけサービス	×	
148	非通知着信拒否	×	
151	メンバーズネット	×	
152	メンバーズネット	×	
157	営業・料金案内	×	
159	あいたらお知らせ	×	
161	ファクシミリ通信網サービス Fネット	×	
162	ファクシミリ通信網サービス同報 Fネット	×	
165	メール送受信	×	
171	災害用伝言ダイヤル	○	
177	天気予報【サービス終了】	×	※天気予報サービス終了(2025/3/31) 2025/4/1～当面の間、○はNTT東西が流すサービス終了ガイダンスに接続し、ガイダンスが流れている間は、通話料がかかります(8.8円/3分)
CD+177	天気予報【サービス終了】	○	
184	発信電話番号表示拒否	○	
186	発信電話番号表示送出	○	
188	消費者ホットライン	×	
189	児童相談所全国共通ダイヤル	×	

<凡例>○…発信可、×…発信不可

参考3. 発信不可の電話番号 (2/2)

■ 0A0系

番号	サービス名	DC発	備考
010	国際電話	△	NTT Comの国際のみ(010-800(国際着信課金サービス)除く) 接続可能な国際電話の国/対地(衛星電話、衛星携帯電話含む)については、 以下参照 https://www.ntt.com/business/services/voice-video/voip/ipvoice/price_p.html
020	ポケベル (発信者課金)	×	
070	携帯	○	
080	携帯	○	
090	携帯	○	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの衛星船舶電話(090-302-****) は発信可。 ただし、以下は発信不可。 ・株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモのサービス用番号(090-3101-****) ・ソフトバンク モバイル株式会社(090-6651-4****)
050	I P 電話	△	無料/有料通話先プロバイダの提供する050IP電話のみ可。詳細は、以下の相互通話可能IP電話事業者タブ参照 「 http://www.ntt.com/business/services/voice-video/voip/isp_catv.html 」

■ 0AB0系

番号	サービス名	DC発	備考
0120	フリーダイヤルなど着信課金サービス	△	次頁参照
0170	伝言ダイヤル	×	
0570	ナビダイヤル	△	次頁参照
0800	着信課金サービス	△	次頁参照
0910	公専接続	×	
0990	災害募金サービス	×	

■ 00XY系

番号	サービス名	DC発	備考
0033	国際 (旧手順)	△	0033-010-800(国際着信課金サービス)を除く 接続可能な国際電話の国/対地(衛星電話、衛星携帯電話含む)については、以下参照 https://www.ntt.com/business/services/voice-video/voip/ipvoice/price_p.html
0034	国際付加機能 (国際着信課金サービスなど)	×	
0035	付加サービス など	0035-35	○
		0035-01	×
		0035-02	×
00XY	他社キャリア	△	00XY+ 一般加入電話/携帯電話/国際電話 *1

*1 ACR (LCR) 機能などにより、事業者識別番号が付与された通話でも、Direct Callingとして接続できますが、キャリア選択の通話とはなりません。(お客さま自らがダイヤルされた場合を含みます)
なお、Direct Callingでの通話となるため、通話料金はDirect Callingの通話料金が適用されます。
対象となる事業者識別番号：001、0036、0038、0039、0041、0060、0061、0071、0077、0080、0081、0082、0083、0086、0088、009191

■ そのほか

番号	サービス名	DC発	備考
#ABCD	#ダイヤル	×	
*ABCD	*ダイヤル	×	

<凡例>○…発信可、×…発信不可、△・・・条件付き(一部発信可)

参考4. 着信課金サービスへの発信

参考4. 着信課金サービスへの発信

フリーダイヤル・ナビダイヤルなどの着信課金サービスへの発信

Direct Calling for Microsoft Teamsの050番からフリーダイヤル(0120・0800)、ナビダイヤル(0570)への発信は可能ですが、発信可能なのは下表の番号帯のみで、他事業者が提供する番号帯へは発信不可となります

■050番号発信が可能な番号帯

サービス	分類	番号帯
フリーダイヤル	NTT Com着信課金(Native)番号帯 ※番号ポータビリティで他社へ転出した番号については、発信不可	0120-000000～899999 0120-XXX000～999 (XXX=900/910/913/915/916/918/920/927/928/930～932/ 939/940/946/947/954/960/967～969/970～ 973/976/978/980) 0120-950000～950999 0800-XXX-0000～ 9999(XXX=000,200,333,555,666,800,999)
ナビダイヤル	NTT Com着信課金(Native)番号帯 ※他事業者への番号ポータビリティはなし	0570-000000～099999 0570-YYY-000～999(YYY=200,550,666,783)

- 注意
- Direct Callingから発信した場合、相手先のフリーダイヤル、ナビダイヤル契約者側で050番号を非許容としていれば、上記の表で「発信が可能」となっているフリーダイヤル/ナビダイヤルの番号帯であっても発信できません。
 - DTMF信号(プッシュ信号)は「みなし音声」として扱います。DID(ダイレクトインダイヤル)、IVRなどのDTMF信号を必要とする接続は保証しておりません。

※ 通話料金は、フリーダイヤルインテリジェントサービス/ナビダイヤルインテリジェントサービスのサービスサイトを確認ください

参考5. Microsoft 365ご契約国の確認方法

Microsoft 365の契約国の事前確認

海外でご契約されたMicrosoft365をご利用のお客さまはNTT Comへのリセラー承諾を行うことができません。
開通フローや納期が異なりますため、お申し込みの前にMicrosoft 365のご契約国を確認してください。

以下にてご確認いただいた結果、ご契約国が日本「以外」の場合には、ICT Business mallからのお申し込みができませんので、NTTコミュニケーションズドコモビジネスコンタクトセンター（0120-003300）よりお申し込みください。

ご契約国の確認方法

ご契約国はテナントの所属している
「国または地域」から確認することができます。
確認方法は、下記になります。

1. Microsoft 365管理センター
(<http://portal.office.com>) にアクセス
2. 左項目 [設定] より [組織設定] を選択
3. [組織のプロファイル] のタブを選択します。
4. [組織の情報] を選択し、「国または地域」にて確認



The screenshot shows the Microsoft 365 Management Center interface. On the left is a navigation pane with '設定' (Settings) selected. The main area shows '組織の設定' (Organization Settings) with the '組織の情報' (Organization Information) tab active. The '国または地域' (Country or region) field is highlighted with a red box and contains the value '日本' (Japan). Other fields like '名前' (Name), '郵便番号' (Postal code), '都道府県' (Prefecture), '市区町村' (City/Town/Village), and '建物名' (Building name) are also visible.

「国または地域」が「日本」の場合：リセラー承諾を行います。
「国または地域」が「日本以外」の場合：リセラー承諾を行うことができません。

参考6. プロキシの設定をされている場合の留意点

参考6. プロキシの設定をされている場合の留意点

そのほか確認事項

- プロキシ設定をしている場合には、以下のアクセスを許可しているか
ご確認ください

最新情報は以下のMicrosoft社のWebサイトにある「Skype for Business Online および Microsoft Teams」の項目をご確認ください。

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/office365/enterprise/urls-and-ip-address-ranges>

※以下は2023年7月14日時点の情報です。

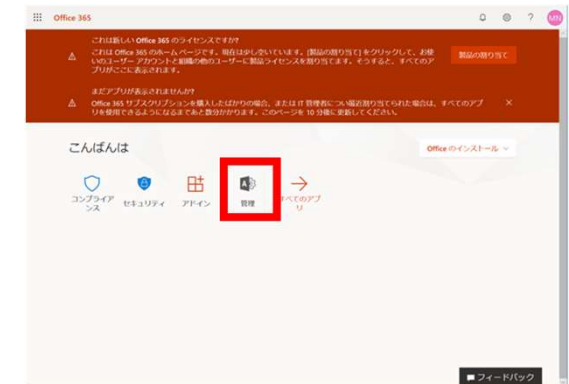
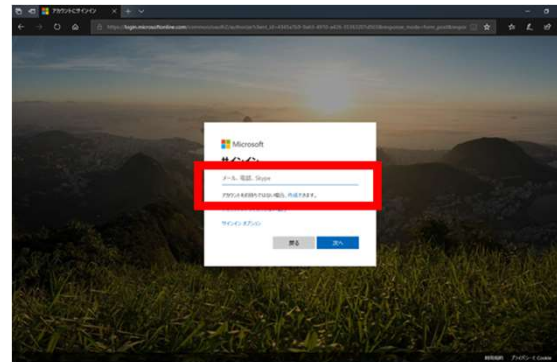
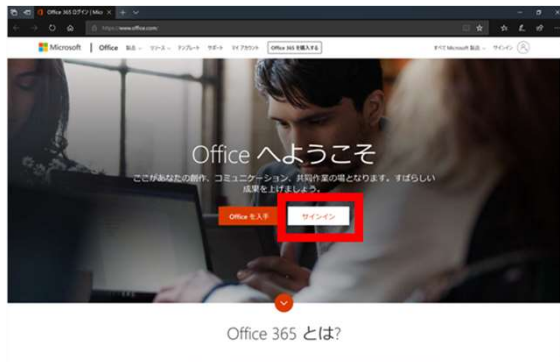
Skype for Business Online および Microsoft Teams

ID	カテゴリ	ER	アドレス	ポート
11	最適化：必須	はい	13.107.64.0/18, 52.112.0.0/14, 52.122.0.0/15, 2603:1063::/39	UDP: 3478、3479、3480、3481
12	許可：必須	はい	*.lync.com, *.teams.microsoft.com, teams.microsoft.com 13.107.64.0/18, 52.112.0.0/14, 52.122.0.0/15, 52.238.119.141/32, 52.244.160.207/32, 2603:1027::/48, 2603:1037::/48, 2603:1047::/48, 2603:1057::/48, 2603:1063::/39, 2620:1ec:6::/48, 2620:1ec:40::/42	TCP: 443、80
13	許可：必須	はい	*.broadcast.skype.com, broadcast.skype.com 13.107.64.0/18, 52.112.0.0/14, 52.122.0.0/15, 52.238.119.141/32, 52.244.160.207/32, 2603:1027::/48, 2603:1037::/48, 2603:1047::/48, 2603:1057::/48, 2603:1063::/39, 2620:1ec:6::/48, 2620:1ec:40::/42	TCP: 443
15	既定値：必須	いいえ	*.sfbassets.com	TCP: 443、80
16	既定値：必須	不要	*.keydelivery.mediaservices.windows.net, *.streaming.mediaservices.windows.net, mlccdn.blob.core.windows.net	TCP: 443
17	既定値：必須	不要	aka.ms	TCP: 443
18	既定値：省略可能 メモ: Skype およびパブリック IM 接続によるフェデレーショ ン: 連絡先の写真の取得	いいえ	*.users.storage.live.com	TCP: 443
19	既定値：省略可能 メモ: 会議室システムを展開す るユーザーにのみ適用	いいえ	*.adl.windows.com	TCP: 443、80
22	許可：省略可能 メモ: チーム: Skype for Business によるメッセージング 相互運用機能	はい	*.skypeforbusiness.com 13.107.64.0/18, 52.112.0.0/14, 52.122.0.0/15, 52.238.119.141/32, 52.244.160.207/32, 2603:1027::/48, 2603:1037::/48, 2603:1047::/48, 2603:1057::/48, 2603:1063::/39, 2620:1ec:6::/48, 2620:1ec:40::/42	TCP: 443
27	既定値：必須	不要	*.mstea.ms, *.secure.skypeassets.com, mlccdnprod.azureedge.net	TCP: 443
127	既定値：必須	いいえ	*.skype.com	TCP: 443、80
167	既定値：必須	不要	*.ecdn.microsoft.com	TCP: 443
180	既定値：必須	不要	compass-ssl.microsoft.com	TCP: 443

参考7. Direct Calling管理用ユーザーの存在確認

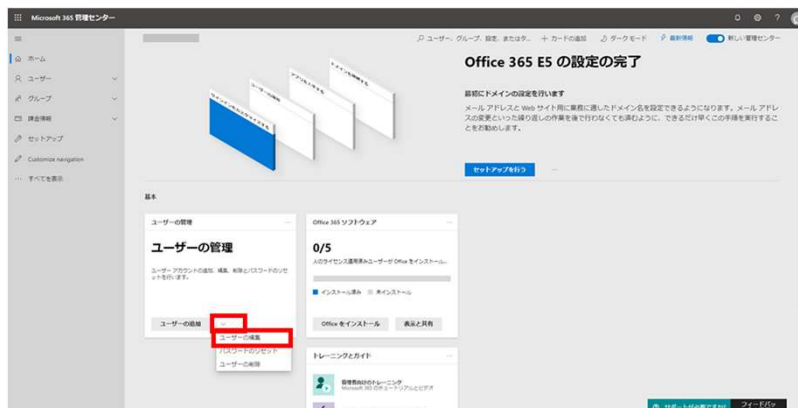
参考7. Direct Calling管理用ユーザーの存在確認

お申し込みフォームにご記入いただくDirect Calling管理用ユーザーが間違いなくMicrosoft 365テナント上に存在していないと、開通手続きを進めることができませんので、お申し込みの前に以下の手順でフォームに入力いただくDirect Calling管理用ユーザーに誤りがないことをご確認ください。

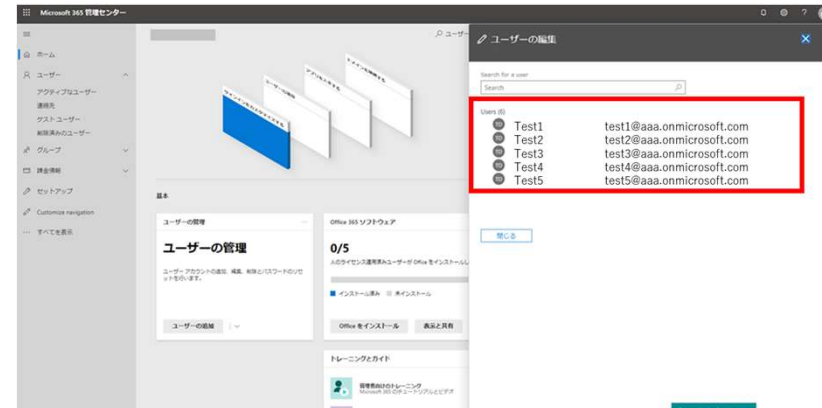


①Microsoft 365管理センターにアクセス ②Microsoft 365グローバル管理者アカウントでログイン

③「管理」アイコンをクリック



④ユーザーの管理タイルの ✓ から「ユーザーの編集」をクリック



⑤ユーザーの編集画面にユーザー一覧が出てくるので、その中に「Direct Calling管理用ユーザー」に指定したユーザーのアカウントが存在していることを確認

※検索しても表示されないユーザーは管理用アカウントに指定できません

参考8. 共存モードを「Teams Only」に設定する

参考8. 共存モードを「Teams Only」に設定する（1/3）

Direct Callingをご利用いただくにあたっては、Teamsの共存モードを「Teams Only」と設定いただく必要があります。（Microsoft社の仕様）共存モードを「Teams Only」に変更することによる影響については、個々のお客さまのご利用状況により異なりますためお使いのMicrosoft 365導入元へお問い合わせください。

■参考となるURL

ユーザーが直接ルーティング、音声、ボイスメールを使用できるようにする

URL: <https://docs.microsoft.com/ja-jp/microsoftteams/direct-routing-enable-users>

※「電話番号を設定し、エンタープライズボイスとボイスメールを有効にする」「Microsoft Teams で通話を確実に
行うためにチームのみのモードをユーザーに割り当てる」の項目をご参照ください。

【留意点】

Skype for Business Online を利用している場合、共存モードの変更により、Skype for Business の利用が制限されます。Skype for Business Online も利用している場合には、共存モードごとの動作について確認の上、ユーザーへのアナウンスなどをご検討ください。

URL:

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/microsoftteams/migration-interop-guidance-for-teams-with-skype>

URL :

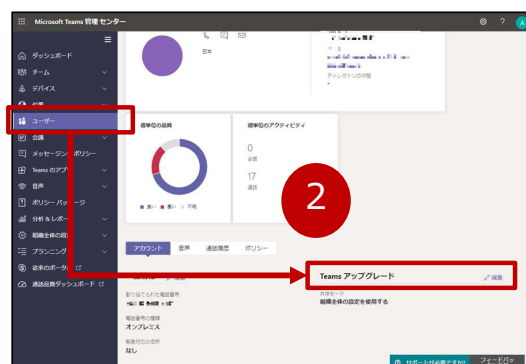
[Teams Only モードの考慮事項 - Microsoft Teams | Microsoft Docs](#)

参考8. 共存モードを「Teams Only」に設定する (2/3)

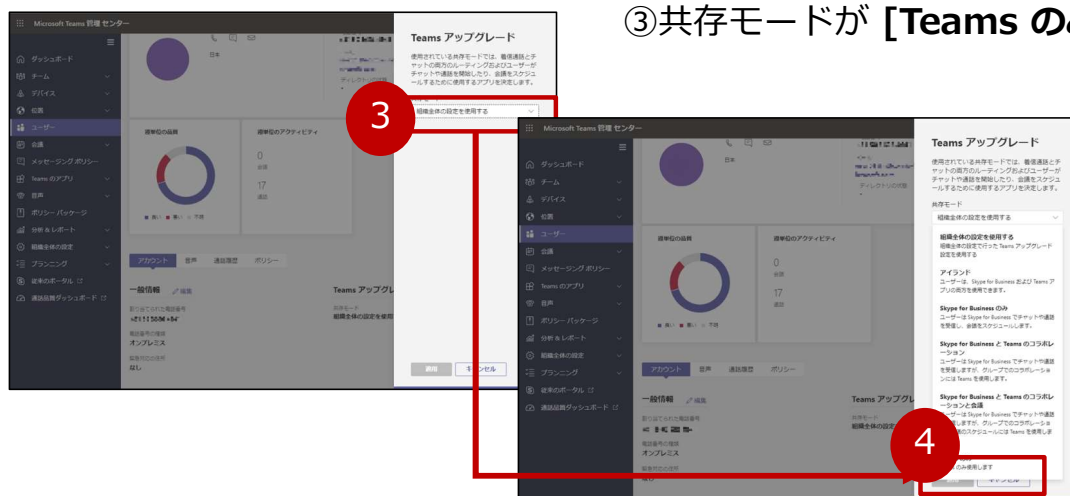
※共存モードを編集する場合、表示画面は2パターンあります。



- ① Teams管理センターにログインします
<https://admin.teams.microsoft.com/dashboard>



- ② 左ペインで[ユーザー] から対象のユーザーを選択し、
Teams アップグレード[編集]をクリックします。



- ③ 共存モードが [Teams のみ] となっているかを確認します。

- ④ 異なっていた場合、[Teams のみ] に変更し、
[適用] をクリックします。

参考8. 共存モードを「Teams Only」に設定する(3/3)

※共存モードを編集する場合、表示画面は2パターンあります。

(パターン2※)

① Teams管理センターにログインします

<https://admin.teams.microsoft.com/dashboard>

1



② 左ペインで[ユーザー] から対象のユーザーを選択し、
チームの数[編集]をクリックします。



③ 共存モードが [チームのチームの間で] となっているかを確認します。



④ 異なっていた場合、[チームのチームの間で] に変更し、
[適用]をクリックします。

参考9. Teams機能との競合について

参考9. Teams機能との競合について

Direct Calling for Microsoft Teamsでは、Teams側で提供している機能については基本、利用可能ですが、以下「発信者番号ポリシー」で匿名にしている場合にはDirect Callingの網側で発番を認識することができないため、発信不可となります。

「発信者番号通知ポリシー」：Teams側で発信者の番号を非通知とする機能

- ① 「オン」にすると着信時発信者の番号が「anonymous」になる
- ② 「オン」しても発信可
- ③ 以下選択
 - ユーザーの番号 → 発信可能（デフォルト）
 - サービス番号 → 選択後、④が活性化
 - 匿名 → 発信不可
- ④ ③で「サービス番号」※を選択したときに活性化。

※サービス番号：Microsoft社が提供している番号

参考10. ID変更・サービスご解約 Webお申し込みについて

参考10. ID変更・サービスご解約 Webお申し込みについて（1/7）

お客さまよりDirect Calling for Microsoft Teams（以下Direct Callingとします）についての一部ご契約内容の変更(ID数の変更)、およびご契約の解約を承るためのWebサイトご利用方法をご案内します。

Direct CallingのID数変更・解約お申し込みはお客さまから直接Webサイトにてお申し込みいただくことが出来ます。お申し込みについての詳細は、以降をご確認いただきますようお願いいたします。

■ Webサイトにて受付できる変更パターンは以下のとおりです

- ・ 050 ID追加
- ・ ID削除
- ・ 050 ID追加とID削除の同時お申し込み
- ・ Direct Callingサービスの解約お申し込み

050番号以外のID追加など、上記以外のご変更につきましてはご契約時に担当しました弊社営業担当者またはドコモビジネスコンタクトセンター（TEL：0120-003300）へご連絡ください。

■ 工事費・月額費用

変更のお申し込みは、変更工事費1,000円(税込1,100円)が発生します。

解約のお申し込みは、工事費はかかりません。

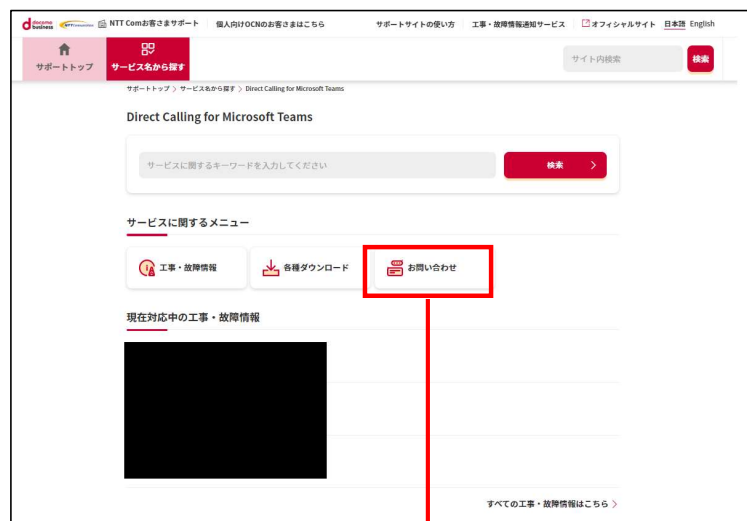
■ 納期

最短7営業日となります。

※「ネットワーク技術担当者」さまとコンタクトが取れたのち本人性の確認に時間を要した場合、または、お申し込み内容に不明点がある場合には、開通希望日が変更となる可能性があります。

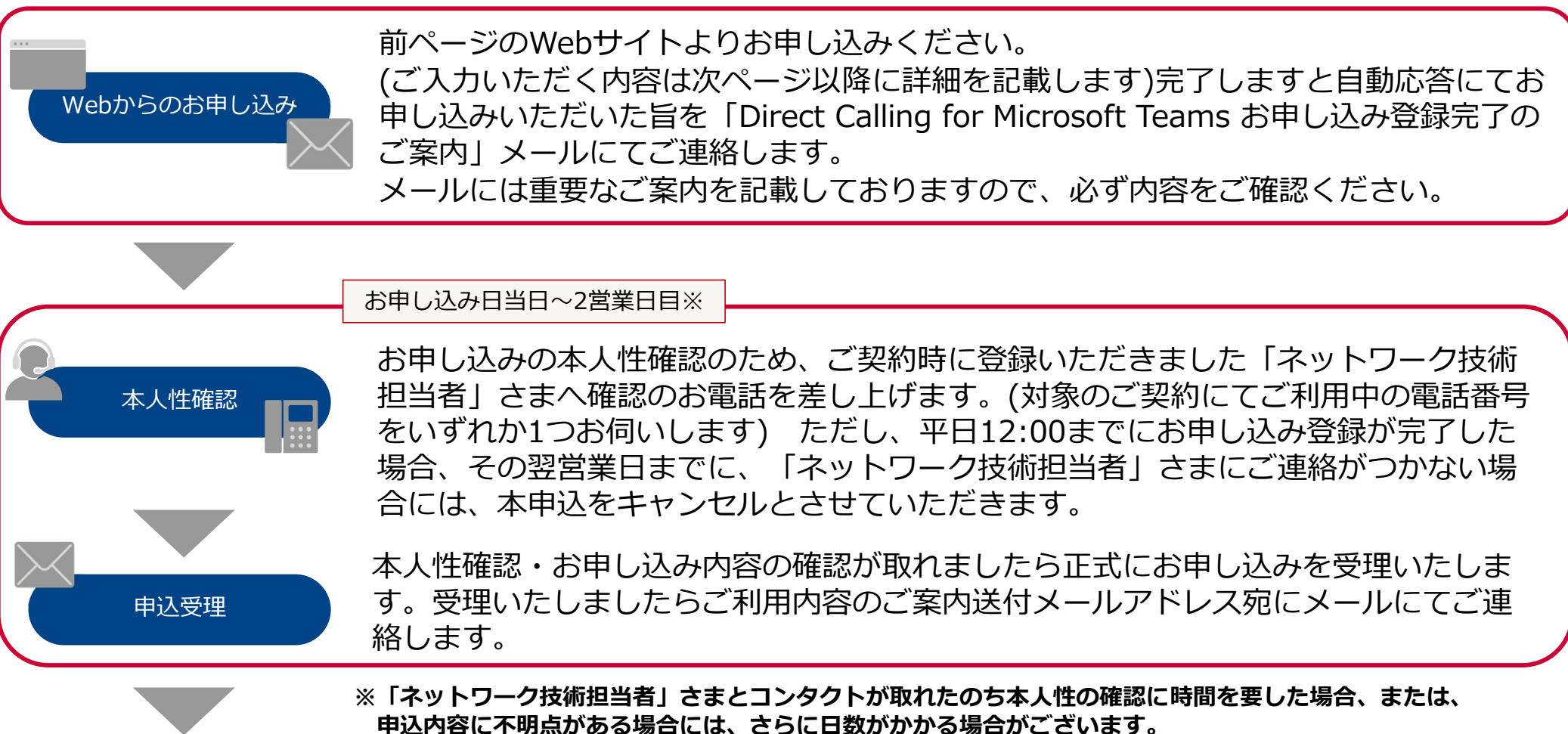
参考10. ID変更・サービスご解約 Webお申し込みについて (2/7)

■NTT com お客さまサポート Direct Calling for Microsoft Teams (URL : <https://support.ntt.com/direct-calling>)



参考10. ID変更・サービスご解約 Webお申し込みについて (3/7)

お申し込みの流れ(1/3)



参考10. ID変更・サービスご解約 Webお申し込みについて（4/7）

お申し込みの流れ(2/3)

最短5営業日目※



ご利用内容のご案内
送付

ID追加の場合は、払い出されたID情報が記載された「ご利用内容のご案内」をメールにて送付します。

ID追加およびID追加・ID削除をお申し込みの場合のみ、送付します。
050電話番号情報が含まれますので、必ずご確認ください。

【ご利用内容のご案内のパスワードについて】

ID追加により払いだされたID情報は記載されたhtmlファイルをzip形式で暗号化してメールに添付します。

復号パスワードは、

「Dc+ご登録担当者さまの電話番号の頭8桁（計10桁）」

となります。

例1：電話番号が 0312345678 の場合、Dc03123456

例2：電話番号が 09012345678 の場合、Dc09012345

ID追加を含む場合には、「ご利用内容に関するご案内」受領次第、PowerShell設定（TeamsアカウントとDirect Calling IDの紐づけ）をお客さまにて実施ください。

お申し込みの流れ(3/3)

変更・解約

最短7営業日目※

弊社にてお申し込みいただいた変更もしくは解約を実施します。

- ・追加したIDの発着信は、開通日の朝よりご確認ください。
- ・削除したIDおよびサービスご解約の場合には、開通日の朝より発着信が不可となります。

※「ネットワーク技術担当者」さまとコンタクトが取れたのち本人性の確認に時間を要した場合、または、申込内容に不明点がある場合には、さらに日数がかかる場合がございます。

留意事項

- ・本お申し込みでは本人性確認を実施します。
ご契約時にご登録いただきました「ネットワーク技術担当者」さまへお申し込み確認のご連絡を差し上げますので、今回のお申し込み担当者さまと「ネットワーク技術担当者」さまが異なる場合には事前にその旨をお伝えください。

※確認のため対象のご契約にてご利用中の電話番号をいずれか1つお伺いします。

- ・平日12:00までにお申し込み登録が完了した場合、
その翌営業日までに「ネットワーク技術担当者」さまにご連絡がつかない場合には、
本お申し込みをキャンセルとさせていただきますので、何卒ご了承ください。

※キャンセルさせていただく場合には、

「【重要なお知らせ】Direct Calling for Microsoft Teams Webお申し込み不受領のご案内」のメールを、お申し込み登録完了をお送りしたメールアドレスへ送付します

FAQ

ご質問	ご回答
<ul style="list-style-type: none"> ・ IP Voice番号通知機能や、特定番号通知機、通話録音自動テキスト化機能はWebから申し込みめますか？ ・ 0ABJ番号はWebから申し込みめますか？ 	<p>オプション機能のお申し込みと0ABJ番号のお申し込みに関しては、弊社ドコモビジネスコンタクトセンター（TEL：0120-003300）にお申し込みいただくか、ご契約時に担当しました弊社営業担当者へご連絡ください。</p>
<p>ネットワーク技術担当者本人が申し込む場合にも、本人性確認の電話はかかってきますか？</p>	<p>その場合にも、本人性の確認のためのお電話をさせていただきます。なお、お申し込み内容に不明点がある場合には、本人性の確認が取れた後にそのお電話にて続けて不明点のご確認をさせていただきます。</p>
<p>現在登録されているネットワーク技術担当者が分かりません。 どこで確認したら良いのでしょうか？</p>	<p>前回お申し込みいただいた際の申込書がお手元にある場合には、そちらにてご確認が可能です。 ネットワーク技術担当者さまがご不明の場合には、お手数ですが、ご契約時に担当しました弊社営業担当者またはドコモビジネスコンタクトセンター（TEL：0120-003300）よりお申し込みください。</p>
<p>ID追加・削除の後、PowerShell設定作業はどうしたら良いのでしょうか？</p>	<p>PowerShell設定作業はお客さまにて実施していただくか、弊社の設定代行メニュー(有償)を別途お申し込みください。設定代行メニューのお申し込みは、弊社ドコモビジネスコンタクトセンター（TEL：0120-003300）もしくは、ご契約時に担当しました弊社営業担当者へご連絡ください。</p>
<p>Webから申し込めるID削除数は何番号まででしょうか？ また、半角400文字を越えるID削除の申し込みをしたい場合にはどうしたら良いのでしょうか？</p>	<p>050番号のみの削除の場合は最大33番号まで、0ABJ番号のみの削除の場合は最大36番号まで、WebからのID削除申し込みが可能です。 半角400文字を越えるID削除のお申し込みをご希望の場合には、弊社ドコモビジネスコンタクトセンター（TEL：0120-003300）へお申し込みください。</p>

参考11. 初期設定サポートツール

参考11. 初期設定サポートツール（1/2）

概要

Direct Callingを利用するためには、お客さま自身でPowerShellにてコマンドを直接入力し設定を行うか、オプションメニューの設定代行メニュー（有償）をお申し込みいただき、NTT comが代わりに設定を行う必要があります。

初期設定サポートツールを利用すると、お客さま自身が直接コマンドを入力する必要がなく、PowerShell設定をすることができます。

<お客さま操作>

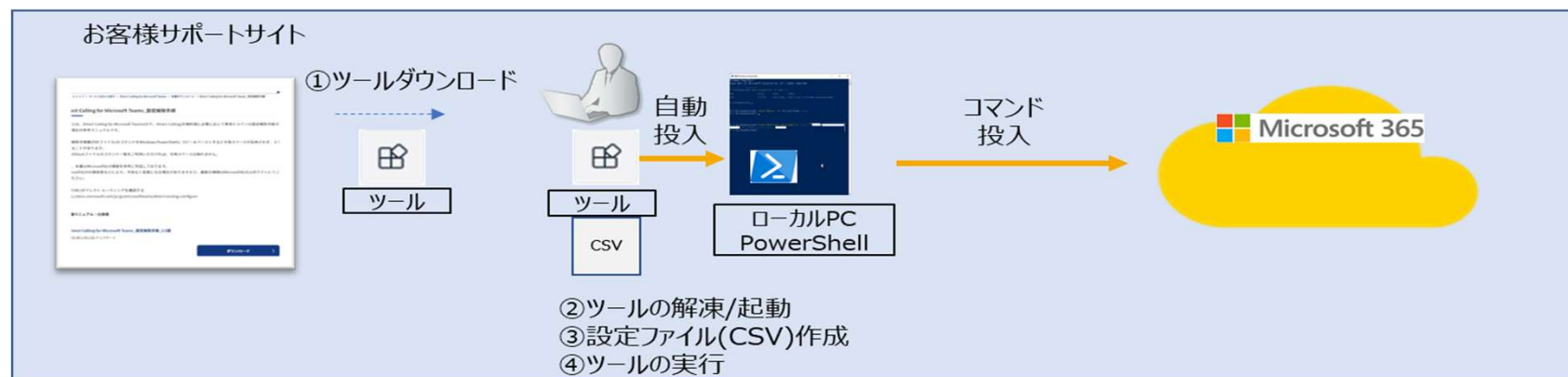
①お客さまサポートサイトより設定ツールをダウンロード

②お客さま自身の端末で設定アプリを解凍/起動する。

環境条件： windows10端末であること、M365環境にアクセスできること、PowerShellが利用可能であること

③指定の設定ファイル(csv)に、電話番号、Office365アカウント情報、ドメイン情報（N番）を記載する。

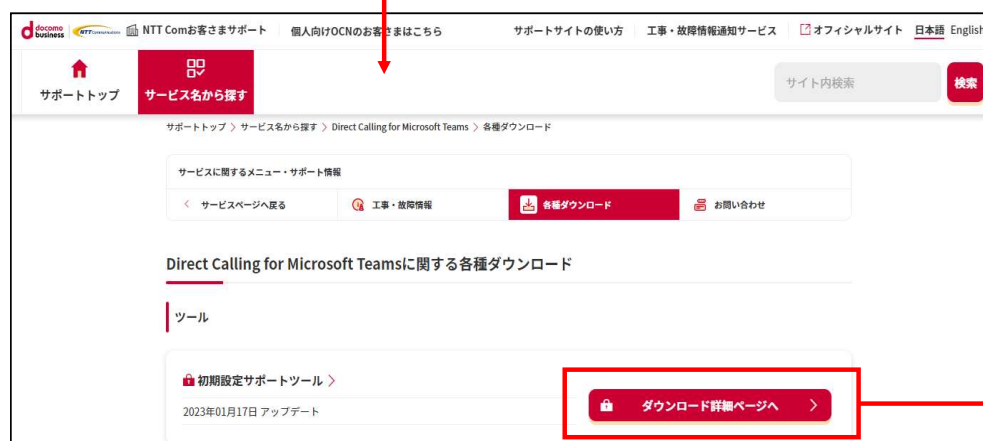
④設定ツールに設定ファイルを読み込ませ実行すると、ツールからPowerShellにコマンドを自動投入。



参考11. 初期設定サポートツール（2/2）

ツール掲載場所

お客さまサポートサイトのDirect Calling For Microsoft Teamsページ
(<https://support.ntt.com/direct-calling>)



**ID・PWは
ご利用内容のご案内書
をご確認ください。**



・ご利用方法および提供機能に関しましては、
ダウンロードzipファイルの中にある**操作マニュアル**をご確認ください。

参考12. Web設定変更サイトについて

参考12. Web設定変更サイトについて（1/3）

概要

Web設定変更サイトではDirect Calling for Microsoft Teams（以下、Direct Callingと表記する場合あり）の各種設定変更を行うことが可能です。

Direct Callingの着信をご希望の電話番号へ転送したり、一部オプション機能のON/OFFを設定できます。Web設定変更サイトのご利用にあたってはビジネスポータルのご登録が必要となります。

ビジネスポータル・Web設定変更サイトはArcstar IP Voiceの項目を利用しますので、表記がすべてArcstar IP Voiceとなっています。それぞれDirect Callingと読み替えてご利用ください。

ご利用にあたってはお客さまサポートサイトを記載しておりますのでご確認ください。

NTTコミュニケーションズビジネスポータルとは・・・

企業向けサービスの各種情報をお客さまがWeb上で一元的に管理できる無料のポータルサイトです。ご契約状況の確認や故障情報の確認ができるほか、ビジネスポータルからWeb設定変更サイトに遷移することでDirect Callingでご利用の電話番号について、転送設定や発信番号通知、特定番号通知などの設定を行うことができますので、お申し込みのうえ、ログイン可能であることをご確認ください。

ご利用にはお申し込みが必要となりますのでDirect Callingお申し込み時の営業担当または

ドコモビジネスコンタクトセンター（0120-003300）へご要望ください。

すでに他サービス利用時に同一名義でご登録済みの場合はそのままご利用いただけます。

また、ログインID・パスワードは厳重に管理いただけますようお願いします。

◆ビジネスポータル初回ログイン手順ご紹介動画⇒

https://www.youtube.com/watch?v=W25KbLpf_OY



参考12. Web設定変更サイトについて（2/3）

設定可能な機能

■ 転送設定

Direct Callingへの着信をご希望の電話番号へネットワーク側で転送する設定を行えます。
転送パターンは以下の4つです。

- ①無条件転送
- ②話中時転送
- ③無応答転送
- ④不通時転送

■ オプション機能のON/OFF設定

以下の機能のON/OFF設定が行えます。

- ・ 発信者番号通知
- ・ 国際電話利用休止
- ・ 発信規制
- ・ 特定番号通知 ※ただし事前にオプションとして特定番号通知をお申し込みの場合のみ

※ご利用にあたって詳細のご利用ガイドはお客さまサポートサイトを記載しておりますのでご確認ください。
（次の頁に掲載場所をご参照ください。）

参考12. Web設定変更サイトについて (3/3)

ご利用ガイドの掲載場所

お客さまサポートサイトのDirect Calling For Microsoft Teamsページ
(<https://support.ntt.com/direct-calling>)


Direct Calling for Microsoft Teams

サービスに関するキーワードを入力してください 検索 >


サービスに関するメニュー

 工事・故障情報  **各種ダウンロード**  お問い合わせ

Web設定変更サイトご利用マニュアル

 Web設定変更サイトご利用マニュアル >

2022年11月25日 アップデート

 **ダウンロード詳細ページへ >**

**ID・PWは
ご利用内容のご案内書
をご確認ください。**

認証ページログイン

このページの閲覧には事前にお知らせしたIDとパスワードを入力してください

ログインID

パスワード

認証ページログイン >

・ご利用方法および提供機能に関しましては、
ダウンロードzipファイルの中にある**操作マニュアル**をご確認ください。

参考13. Direct Calling管理用ユーザーの管理者ロールについて

参考13. Direct Calling管理用ユーザーの 管理者ロールについて (1/3)

Direct Calling管理用ユーザーの選択

Microsoft 365管理センターへログインし、ユーザー→アクティブなユーザーの順にアクセスし、対象のDirect Calling管理用ユーザーを選択します。

ホーム > アクティブなユーザー

アクティブなユーザー

推奨処置 (1)

ユーザーの追加 ユーザー テンプレート 複数のユーザーの追加 多要素認証

アクティブなユーザーのリス...

<input type="checkbox"/>	表示名 ↑	ユーザー名	ライセンス
<input type="checkbox"/>	N217003163	n217003163kanriuser@vvd4mt006.onmicrosoft.com	ライセンスなし
<input type="checkbox"/>	resource-test	resource-test@n190170086.direct-calling-teams001.jp	Microsoft Teams 電話リソース アカウント
<input type="checkbox"/>	test000	test000@vvd4mt006.onmicrosoft.com	Microsoft Teams 電話リソース アカウント
<input type="checkbox"/>	vv006 01	vv00601@vvd4mt006.onmicrosoft.com	Office 365 E1
<input type="checkbox"/>	vv006 02	vv00602@vvd4mt006.onmicrosoft.com	ライセンスなし
<input type="checkbox"/>	vv006 03	vv00603@vvd4mt006.onmicrosoft.com	ライセンスなし
<input type="checkbox"/>	vv006 04	vv00604@vvd4mt006.onmicrosoft.com	ライセンスなし
<input type="checkbox"/>	vv006 05	vv00605@n227002227.direct-calling-teams003.jp	ライセンスなし

ヘルプとサポート
フィードバック
の送信

参考13. Direct Calling管理用ユーザーの 管理者ロールについて (2/3)

Direct Calling管理用ユーザーの選択

「役割」に「管理者アクセス許可がありません」と表示されれば、追加設定は不要でDirect Calling管理用ユーザーとしてご利用いただけます。

The screenshot shows the user management page for 'test000'. The user's status is 'サインイン禁止' (Sign-in prohibited). Below the user name, there are tabs for 'アカウント' (Account), 'デバイス' (Devices), 'ライセンスとアプリ' (Licenses and apps), 'メール' (Email), and 'OneDrive'. The 'アカウント' tab is selected. The user's email is 'test000@vvd4mt006.onmicrosoft.com'. The '役割' (Role) section is highlighted with a red box, showing '管理者アクセス許可がありません' (No administrator access). The '連絡先情報' (Contact information) section shows the display name 'test000' and the phone number field is empty.

ユーザー名	最後に行ったサインイン
test000@vvd4mt006.onmicrosoft.com	過去 7 日間を表示

代替メール アドレス	グループ
指定なし	すべてのユーザー
アドレスの追加	グループの管理

役割	管理者
管理者アクセス許可がありません	指定なし
役割の管理	管理者の追加

連絡先情報	名
表示名	test000
電話番号	
連絡先情報の管理	

参考13. Direct Calling管理用ユーザーの 管理者ロールについて (3/3)

Direct Calling管理用ユーザーの選択

「役割」に「管理者アクセス許可がありません」と表示されず、ロールが割り当てられている場合は、「役割の管理」をクリックし、役割の管理を「ユーザー（管理センターに対するアクセス許可なし）」へ変更し保存してください。

The screenshot shows the user management interface for a user named 'test000'. The user's status is 'サインイン禁止' (Sign-in prohibited). Below the user name, there are links for 'パスワードのリセット' (Reset password), 'サインインのブロックを解除' (Unblock sign-in), and 'ユーザーの削除' (Delete user). The '役割' (Role) section shows '管理者アクセス許可がありません' (No administrator access permission) and a red box highlights the '役割の管理' (Manage role) link. Other sections include 'アカウント' (Account), 'デバイス' (Devices), 'ライセンスとアプリ' (Licenses and apps), 'メール' (Email), 'OneDrive', '代替メール アドレス' (Alternate email address), 'グループ' (Groups), '連絡先情報' (Contact information), and '表示名' (Display name).

The screenshot shows the '管理者の役割の管理' (Manage administrator roles) page. It explains that administrator roles determine the access permissions for users in the management center. A red box highlights the selected role: 'ユーザー (管理センターに対するアクセス許可なし)' (User (No access permission to the management center)). Other roles listed include '管理センターに対するアクセス許可' (Access permission to the management center), 'Exchange 管理者' (Exchange administrator), 'SharePoint 管理者' (SharePoint administrator), 'Teams 管理者' (Teams administrator), 'グローバル管理者' (Global administrator), 'グローバル閲覧者' (Global reader), 'サービス サポート管理者' (Service support administrator), and 'ヘルプデスク管理者' (Help desk administrator). A '変更の保存' (Save changes) button is at the bottom.

参考14. GDAP承認依頼メール

GDAP承認依頼メールとは

■ 概要

GDAP承諾とは・・・[詳細な委任された管理者特権 \(GDAP\) の概要 - Partner Center | Microsoft Learn](#)

Microsoft社の仕様変更により、2023年9月25日以降の新規ご契約お申し込み時にはDirect Callingの開通処理をする上で必要なアクセス権（GDAP）をNTT Comに与えていただくためのお客さま承認手続きを実施していただくことが必要となりました。

つきましては、承認いただけませんとサービス開通処理に進められなくなるため、大変お手数ではございますが承認お手続きをお願いします。

■ お手続き方法

新規ご契約でGDAP承認が未対応のお客さま宛には承認依頼のメールが送信されます。
詳細のお手続きにつきましては次ページ以降を参照ください。

■ ご留意点

- ・すでにDirect Callingを利用されている場合でも、その後新たに新規N番を追加する際にGDAP承諾の期限が切れている、または解除済みの場合については、再度GDAP承諾をいただくことが必要となります。
お客さま宛に承認依頼のメールを送信しますので、お手続きください。
- ・利用開始後、GDAPの期限切れに関するメールが自動送信されることがございますが、対応は不要です。
- ・GDAP承諾はDirect Calling開通後、お客さまにて解除いただくことが可能です。
※開通前に解除はしないでください。
※詳細の方法はDirect Calling for Microsoft Teams_ご契約の手引きの【参考15】を参照ください。

参考14. GDAP承認依頼メール（2/6）

管理者リレーションシップの承認依頼メール

Direct Calling for Microsoft Teamsの新規お申し込みを実施いただきますと、右のようなメールが送信されます。

※お客さまテナントにNTTコミュニケーションズをすでにパートナー登録いただいている場合には本メールは届きません。
本メールが届かない場合は、処理も必要ございませんので、ご利用開始日まで今しばらくお待ちください。

本メールが届いたお客さまにおかれましては、メール本文記載のURLをクリックいただき、次項の承認プロセスを実施いただけますようお願いいたします。
なお、本メールへの完了連絡などの返信は不要です。

お客さまでの権限承諾が完了しましたら、NTTコミュニケーションズで開通処理を進めることが可能となります。権限承諾が完了していない場合には処理が行えず、開通日のご希望に添えない可能性がございますので、ご不明点がございましたら弊社営業担当者へご連絡ください。

件名	【重要】Direct Calling for Microsoft Teamsのお申し込みに伴う開通処理に必要な権限承認URLのご送付
本文	<p>* * * NTTコミュニケーションズからのお客さまへの重要なお知らせ * * *</p> <p># 本メールはシステムより自動送信されております。 # このままご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。 # 本メールにお心当たりのない方は破棄していただきますようお願いいたします。</p> <p>このたびは、弊社サービスをお申し込みいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>Direct Calling for Microsoft Teamsの開通処理に必要な承認URLは以下となります。</p> <p>https://XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX</p> <ul style="list-style-type: none">• お客さまに権限承諾いただくことで、お客さまのMicrosoft 365テナントに対し、Direct Calling for Microsoft Teamsの利用開始に必要な項目をお客さまに代わって設定することができます。設定に関わらないお客さまの情報は閲覧しません。また、許可する作業には費用はかかりません。• 上記の承認URLにアクセスすると、画面が遷移します。 Microsoft 365管理者IDでログインして「承諾」をクリックしてください。• 権限承諾が完了していない場合、NTTコミュニケーションズで開通処理が行えず、開通日のご希望に添えない可能性があります。 <p>操作イメージは以下となります。 https://support.ntt.com/direct-calling/download/detail/pid2100001wgl</p> <p>===== NTTコミュニケーションズ株式会社 =====</p>

参考14. GDAP承認依頼メール (3/6)

お客さまによる承認作業

こちらは管理者リレーションシップリクエストを受信したお客さま側での作業となります。

お客さまがメール記載のURLをクリックすると、このような画面に遷移します。

※サインインがまだの場合にはサインイン画面へ遷移しますので、グローバル管理権限のあるアカウントにてサインインします。

アクセス許可に関する注意をご確認の上、チェックボックスにチェックして、画面下までスクロールします。

パートナーの役割を承認する

パートナーである、NTTコミュニケーションズ(株)が、これらの管理者の役割を要求します。これらの役割により、パートナーは管理センターでデータを表示してタスクを完了するアクセス許可を得ることができます。 [管理者の役割に関する詳細情報](#)

パートナー情報
NTTコミュニケーションズ(株)
Otemachi 2-3-1
OTEMACHI PLACE WEST TOWER
Chiyoda-ku, Tokyo-to 100-8019
JP

リレーションシップ型
詳細管理アクセス

リレーションシップ名
XXXXX

役割
グループ管理者、ユーザ管理者、ドメイン名管理者、Exchange管理者、グローバル閲覧者、ライセンス管理者

期間
730 日

☐ [NTTコミュニケーションズ(株)] を選択することにより、このパートナー管理者にアクセス許可を付与することを選択することになります。これには、Microsoft と通信



メール記載のURLをクリックした際に、エラー画面が表示される場合は、下記を試してください。

- ①ブラウザのキャッシュのクリア
- ②InPrivateブラウズでの利用
- ③ブラウザ/端末の変更

参考14. GDAP承認依頼メール（4/6）

お客さまによる承認作業

スクロールすると、**[すべて承認]**というボタンが表示されます。

※前項のチェックを入れると[すべて承認]ボタンがアクティブになります。

[すべて承認] ボタンを押下します。



参考14. GDAP承認依頼メール（5/6）

お客さまによる承認作業

[すべて承認] ボタンをクリックすると、「承諾してパートナーにアクセス権を付与しますか？」というポップアップ画面が表示されます。

[はい] をクリックします。
※クリック後、次の画面に切り替わるまで時間がかかる場合がございます



参考14. GDAP承認依頼メール（6/6）

お客さまによる承認作業

パートナーセンターリレーションシップの画面に自動的に切り替わり、承認された管理者リレーションシップが表示されます。

以上で終了になります。



参考15. GDAP解除方法

GDAP解除とは

■ 概要

Direct Calling新規お申し込み開通後、GDAP（リレーションシップ名：NTTCom_dc_xxxxxxx（連番））、

または dc_xxxxxxx（連番））を解除いただくことが可能です。

必要に応じて実施ください。

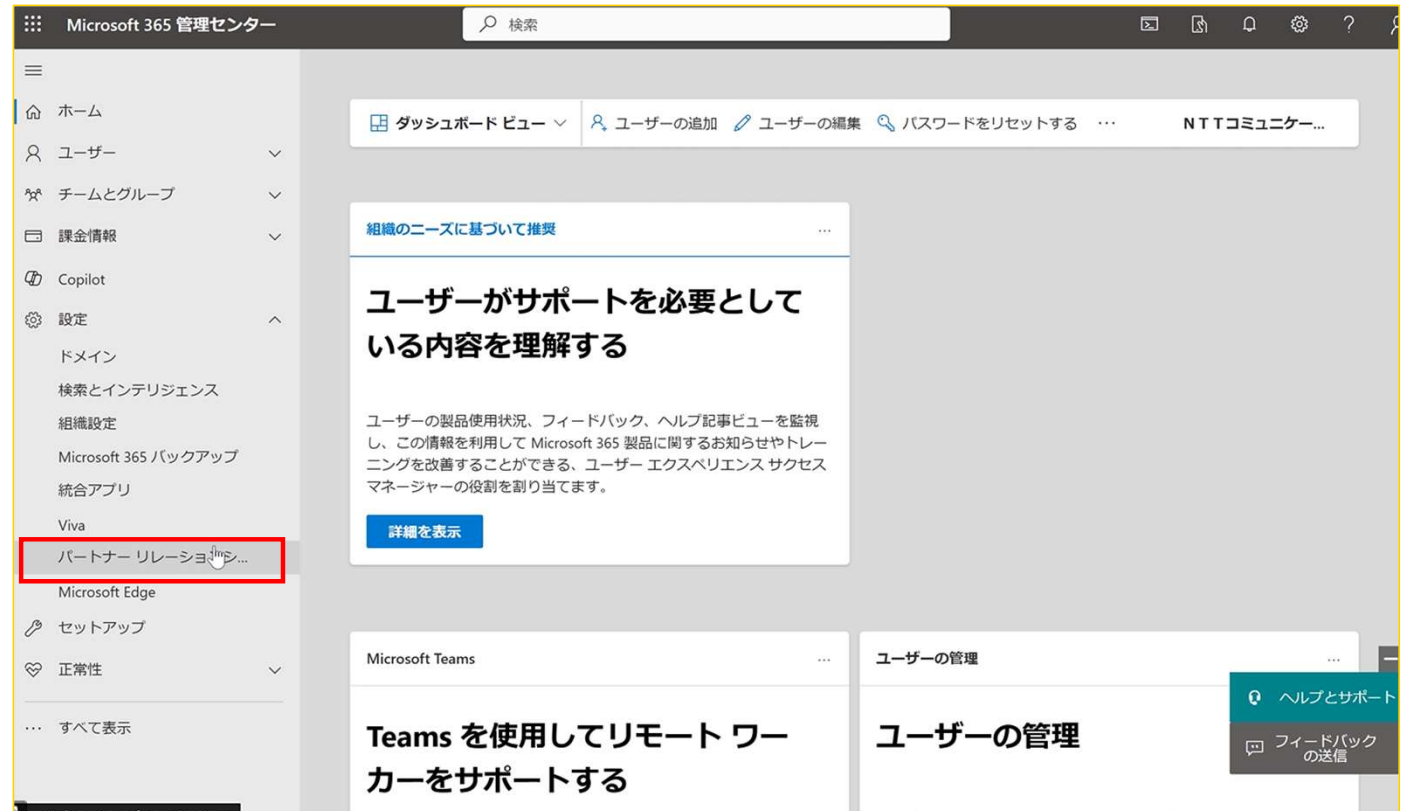


解除後にDirect Calling新規お申し込みをいただく場合、再度GDAP承諾が必要となります。

参考15. GDAP解除方法

GDAP解除方法（1/7）

Microsoft 365管理センターにて「パートナーリレーションシップ」を選択します。



参考15. GDAP解除方法

GDAP解除方法（2/7）

対象のリレーションシップ名を選択します。

The screenshot shows the Microsoft 365 Management Center interface. On the left is a navigation pane with various settings categories. The main area displays the 'Partner Relationship' section, which lists relationships under the heading '委任された管理特権 (GDAP) の詳細'. A table lists the relationships, with the first entry 'NTT Communications Corporation (5)' expanded. Within this expansion, the relationship 'NTTCom_DC_00000000' is highlighted with a red rectangular box. The table also shows the roles assigned to this relationship, including 'グループ管理者、ユーザー管理者、ドメイン名管理者、その他 3' and 'GDAP'.

パートナーと関連付けられた関係 ↓	承認されたロール	役割の承認 ①
NTT Communications Corporation (5)		
NTTCom_DC_00000000	グループ管理者、ユーザー管理者、ドメイン名管理者、その他 3	GDAP

参考15. GDAP解除方法

GDAP解除方法（3/7）

役割を選択します。

The screenshot shows the Microsoft 365 Management Center interface for a partner relationship with NTT Communications Corporation. The left sidebar contains navigation options: ホーム, ユーザー, チームとグループ, 課金情報, Copilot, 設定, ドメイン, 検索とインテリジェンス, 組織設定, Microsoft 365 バックアップ, 統合アプリ, Viva, パートナー リレーションシ..., Microsoft Edge, セットアップ, 正常性, and a link to view all items. The main content area is titled 'NTT Communications Corporation' and includes a description of partner privileges. Below this, the 'リレーションシップ情報' (Relationship Information) tab is selected, and the '役割' (Role) sub-tab is highlighted with a red box. The 'パートナー情報' (Partner Information) section displays details for NTT Communications Corporation, including its address and phone number. The '有効期限' (Valid Until) is 2026年9月24日. The '役割の承認' (Role Approval) section shows '詳細管理アクセス' (Detailed Management Access). The 'リレーションシップの自動拡張' (Automatic Extension of Relationship) toggle is currently 'オフ' (Off). The 'リレーションシップ名' (Relationship Name) is NTTCom_DC_0000000. At the bottom right, there are links for 'ヘルプとサポート' (Help and Support) and 'フィードバックの送信' (Send Feedback).

Microsoft 365 管理センター

ホーム > パートナー リレーションシップ > NTT Communications Corporation

ダーク モードを有効にする

NTT Communications Corporation

パートナーには、委任された管理者の詳細な特権があります。割り当てられたロールは、Microsoft アカウントの管理を許可します。

リレーションシップ情報 **役割**

パートナー情報

NTT Communications Corporation
Otemachi 2-3-1
OTEMACHI PLACE WEST TOWER
Chiyoda-ku, Tokyo-to 108-8019
JP
0367339553

状態
アクティブ

役割の承認
詳細管理アクセス

有効期限
2026年9月24日

リレーションシップ名
NTTCom_DC_0000000

リレーションシップの自動拡張
☐ オン ☒ オフ

ヘルプとサポート
フィードバックの送信

参考15. GDAP解除方法

GDAP解除方法（4/7）

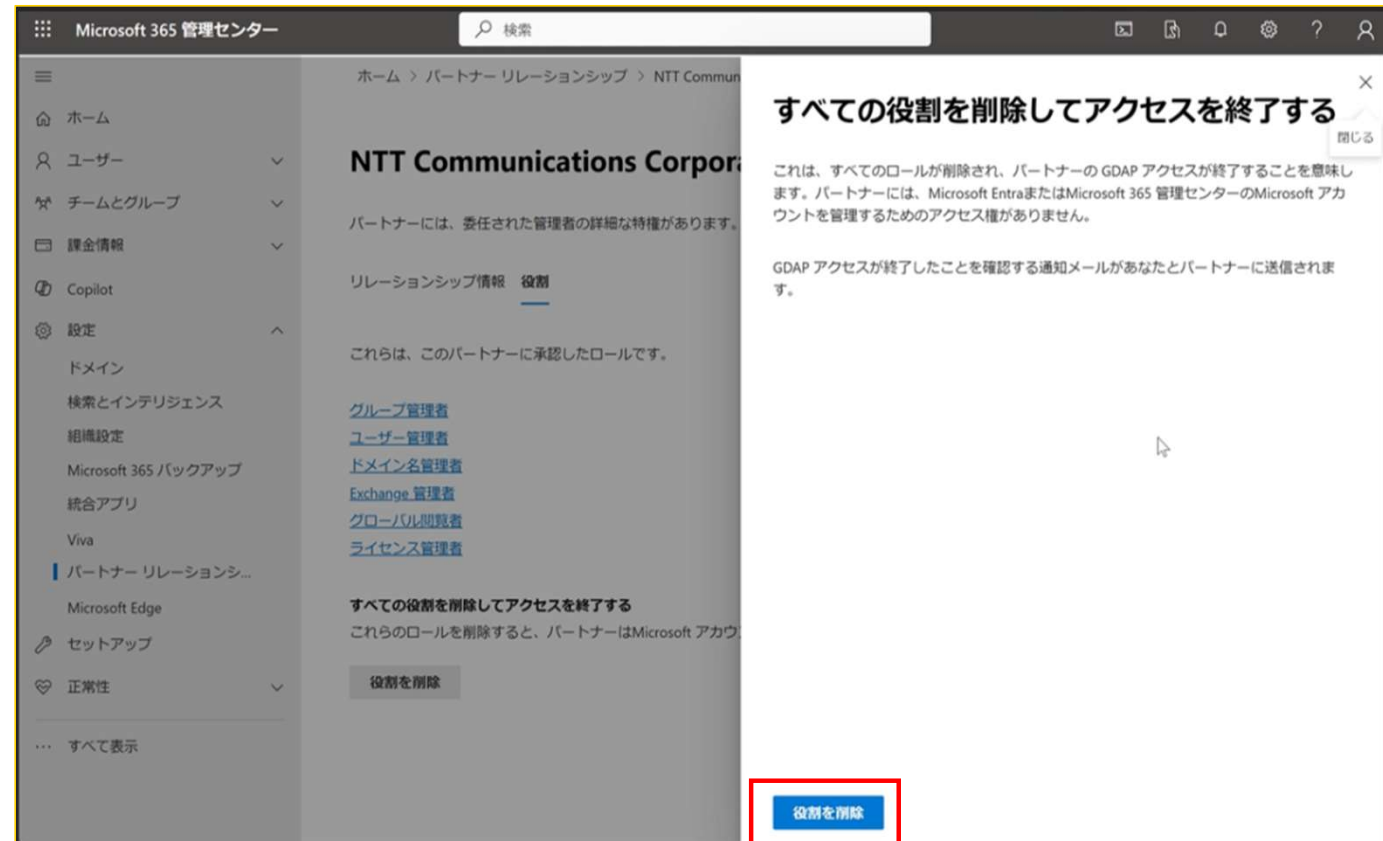
「役割を削除」を選択します。



参考15. GDAP解除方法

GDAP解除方法（5/7）

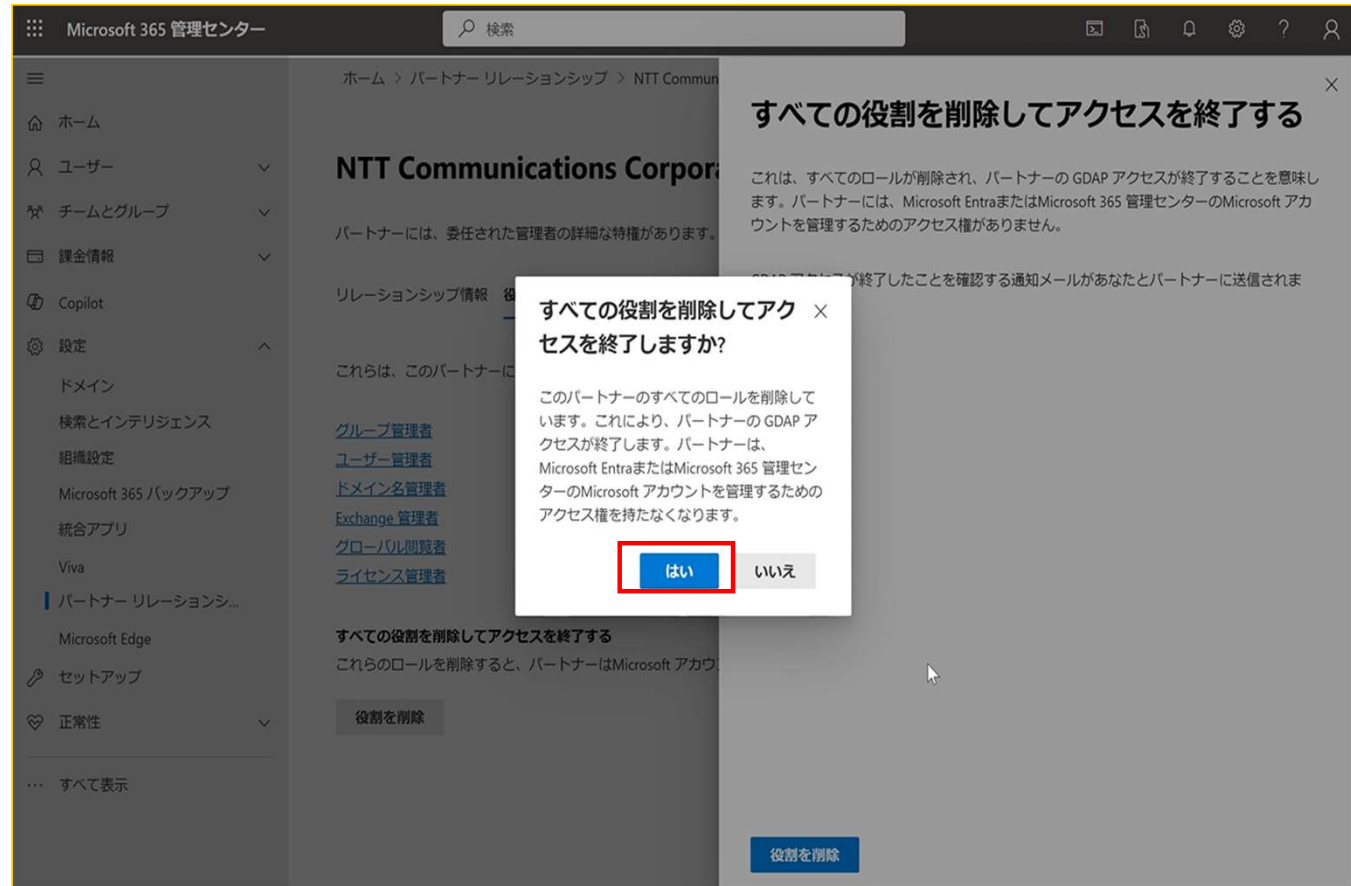
「役割を削除」を選択します。



参考15. GDAP解除方法

GDAP解除方法（6/7）

ポップアップが出てくるため、「はい」を選択します。



参考15. GDAP解除方法

GDAP解除方法（7/7）

「削除されました」と表示されれば、削除完了です。



参考16. GDAP承認状況確認方法

参考16. GDAP承認状況確認方法（1/4）

GDAPの期限切れに伴うメール通知について

お客さまに承認頂きましたGDAPについては、有効期限（2年間）がございます。
そのため有効期限前となりますとMicrosoftよりGDAP有効期限切れの通知メールが期限切れの約1カ月前から送付されることがあります。

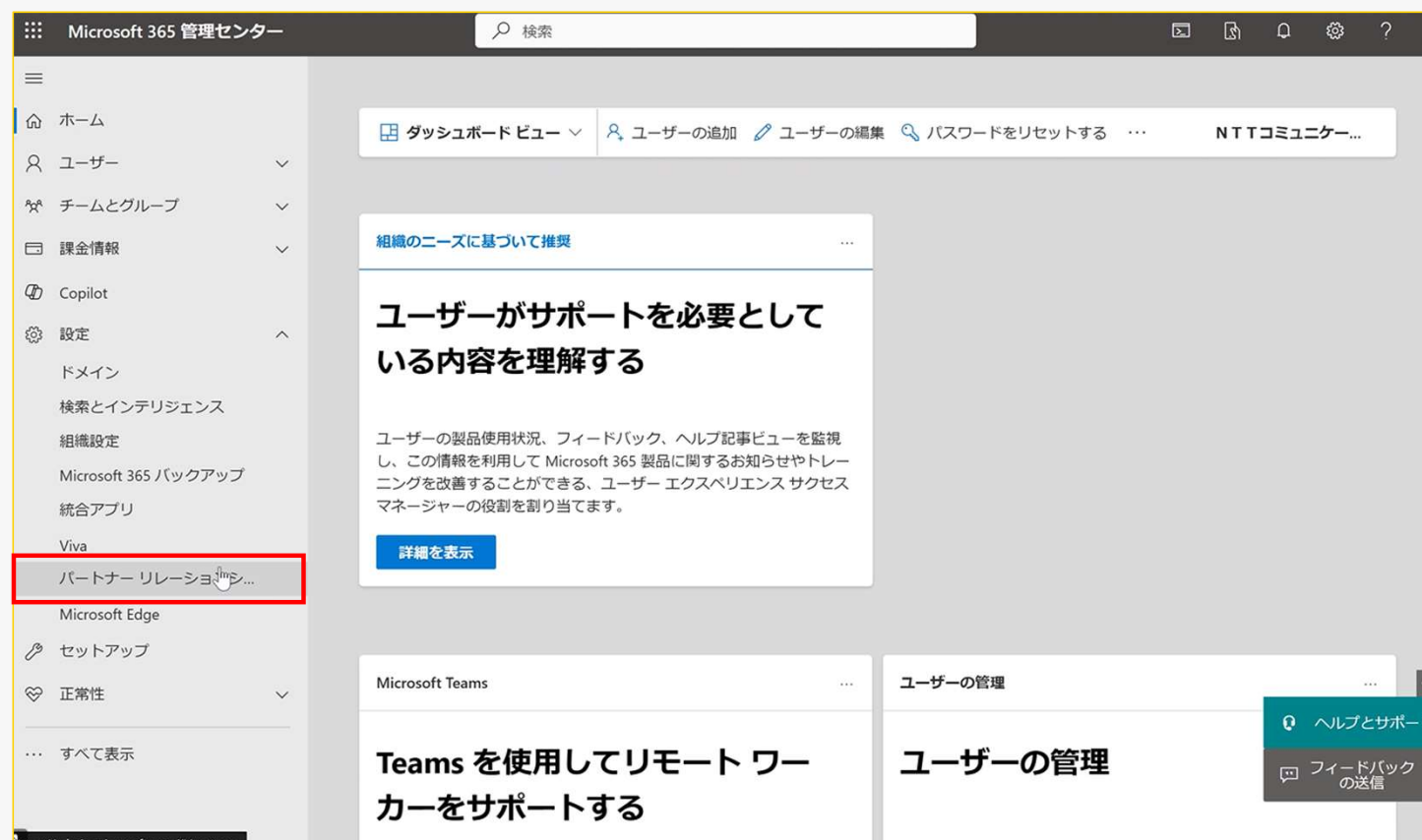
サービスの継続利用のためにGDAP承認を維持いただく必要はないため、期限切れメールが送付された場合のお客さま対応はございません。
ただし、N番追加の際には有効期限内のGDAPが必要となりますので、N番追加のお申し込みを頂いた際にGDAPが有効期限切れの場合はGDAP承認を再度お願いするため、納期に余裕をもってお申し込みいただくようお願いします。

参考16. GDAP承認状況確認方法（2/4）

GDAPの期限切れに伴うメール通知について

お客さまに承認頂きましたGDAPの確認方法は以下になります。有効期限の確認が行えます。

Microsoft 365管理センターにて「パートナーリレーションシップ」を選択します。



参考16. GDAP承認状況確認方法 (3/4)

GDAPの期限切れに伴うメール通知について

対象のリレーションシップ
名を選択します。

リレーションシップ名：
NTTCom_dc_xxxxxxx
(連番)
または
dc_xxxxxxx (連番)



The screenshot shows the Microsoft 365 Management Center interface. On the left is a navigation pane with various settings. The main area displays the 'Partner Relationship' section. A notification banner at the top reads: 'パートナー契約の確認' (Check Partner Agreement) with the message: 'パートナーが承認されたロールを引き続き必要としていることを確認してください。' (Please confirm that the partner still needs the roles that have been approved). Below this, the '承認された要求' (Approved Requests) section shows a table of relationships. The table has columns for 'パートナーと関連付けられた関係' (Relationship associated with the partner), '承認されたロール' (Approved roles), and '役割の承認' (Role approval). Under the 'NTT Communications Corporation (5)' group, the relationship 'NTTCom_DC_000000' is listed, with its ID highlighted by a red box. The roles listed are 'グループ管理者、ユーザー管理者、ドメイン名管理者、その他 3 個' (Group administrator, User administrator, Domain name administrator, and other 3 roles). The bottom right corner contains links for 'ヘルプとサポート' (Help and Support) and 'フィードバックの送信' (Send feedback).

参考16. GDAP承認状況確認方法（4/4）

GDAPの期限切れに伴うメール通知について

状態、および有効期限を確認します。



The screenshot displays the Microsoft 365 Management Center interface for a partner relationship with NTT Communications Corporation. The left sidebar shows the navigation menu with 'パートナー リレーションシップ' (Partner Relationship) selected. The main content area shows the partner's details, including their address and phone number. The '状態' (Status) is marked as 'アクティブ' (Active) with a green checkmark. The '有効期限' (Expiration Date) is listed as '2026年9月24日' (September 24, 2026). The '役割の承認' (Role Approval) section shows '詳細管理アクセス' (Detailed Management Access). The 'リレーションシップの自動拡張' (Automatic Extension of Relationship) toggle is currently 'オフ' (Off). A 'ヘルプとサポート' (Help and Support) button is visible in the bottom right corner.

項目	値
パートナー情報	NTT Communications Corporation Otemachi 2-3-1 OTEMACHI PLACE WEST TOWER Chiyoda-ku, Tokyo-to 108-8019 JP 0367339553
状態	アクティブ
有効期限	2026年9月24日
役割の承認	詳細管理アクセス
リレーションシップ名	NTTCom_DC_0000000
リレーションシップの自動拡張	オフ

参考17. 設定がうまくいかない場合の対処法

参考17. 設定がうまくいかない場合の対処法

こんな時	対処法
お申し込み受付窓口から「Direct Calling管理用ユーザーが見当たらない」という連絡があった	本書P.31の手順にてお申し込みフォームに入力いただいた「Direct Calling管理用ユーザー」が間違いなく、Microsoft 365テナント上に存在しているかご確認ください。 【P.31で確認した結果、該当ユーザーが見つからない原因】 <ul style="list-style-type: none">・お申し込みフォームに記入いただいた「Direct Calling管理用ユーザー」のスペルに誤りはないですか？・「Direct Calling管理用ユーザー」はクラウドAD上で作成しましたか？オンプレADで作成したユーザーはDirect Callingの管理用ユーザーに指定できません。
Powershellの設定がうまくいかない	初期設定サポートツールを利用すると、お客さま自身が直接コマンドを入力する必要がなく、PowerShell設定をすることができます。 一番多いのはコマンドを間違えているケースです。 余分なスペースが入っていないか、コマンドの打ち間違いがないか、再度ご確認ください。
Powershellのコマンドのうち、「New-CsOnlineVoiceRoute」で「Cannot find specified Gateway “NXXXXXXXXX.direct-calling-teams001.jp”」というエラーが出た	Microsoft 365管理センターより、Direct Calling管理用ユーザーの「Teams」と「SkypeOnlineのサービス」が有効化されているかご確認ください。有効化されていないと当該エラーが発生します。
Powershellの設定が終わったのにダイヤルパッドが出てこない、発着信がうまくできない	<ul style="list-style-type: none">・ Powershellの設定から24時間以上経過していますか？ ⇒ Powershellの設定は、反映まで最大24時間かかります。 時間をおいてご確認ください。・ 共存モードが「Teams Only」になっていますか？ ⇒ 本書P.33-35をご確認ください・ 利用者にPhone Standard(電話スタンダード)ライセンスを付与していますか？設定後にPhone Standard（電話スタンダード）ライセンスを外しませんでしたか？ ⇒ Phone Standardがついていなかったり、一度外してしまうと、発信ができなくなります。Phone Standard（電話スタンダード）が付与された状態で再度設定をし直してください・ プロキシの設定をしていませんか？ ⇒ 本書P.29およびMS社のHPをご確認ください

2020/09	1.0版	リリース
2020/10	1.1版	Microsoft 365を海外でご契約の場合を追加 プロキシの設定に関する留意点を追加
2020/11	1.2版	着信課金番号への発信に関する留意点を追加
2020/11	1.3版	Direct Calling管理用ユーザーに関する留意事項の追記 Direct Calling管理用ユーザーがOffice 365テナント上に存在しているかの確認方法を追記
2020/12	1.4版	共存モードの設定を追加 Phone Standard（電話スタンダード）購入時に「通話プランなし」を選択する点を追加
2021/02	1.5版	プロキシの設定に関する留意点の対象URL追記 PowerShellによる設定イメージの更新（MS社がSkype for Business Online Connectorのサポート終了をアナウンスしたため）
2021/04	1.6版	Direct Calling管理用ユーザーに付与するライセンス種別の拡大 Direct Calling管理用ユーザーの「Teams」と「SkypeOnlineのサービス」が有効化が必要である旨追記 基本契約IDに関する留意事項を追記 時報に関する留意事項の追記 DTMF信号に関する注意事項の追記 「設定がうまくいかない場合」を追加
2021/05	1.7版	事前準備に共存モードを「Teams Only」に設定する点を追記 管理用ユーザーの条件として「TeamsとSkype for Business onlineサービスの利用が許可されていること」を追加 【参考】Teams機能との競合についてページの追加、および本追加に伴うページ数の修正 そのほか誤記の修正
2021/06	1.8版	管理用ユーザーのライセンス種類追加および、管理用ユーザーのライセンス付与の仕様変更 プロキシの設定の追加・削除
2021/10	1.9版	【参考】ID変更・サービスご解約受付サイトご利用方法を追記
2021/12	2.0版	Direct Calling管理用ユーザーライセンスの付与仕様変更
2022/02	2.1版	Microsoft 365グローバル管理者に変更
2022/04	2.2版	Microsoft 365 Phone System(電話システム)の名称をMicrosoft Teams Phone Standard(電話スタンダード)に変更
2022/05	2.3版	0ABJについて追記。参考に初期設定サポートツール追加
2022/07	2.4版	Direct Calling管理用ユーザーライセンス仕様変更に伴う文言修正/ドコモビジネスコンタクトセンター名称修正、TEL修正
2022/11	2.5版	目次追加/Direct Calling管理用ユーザーライセンスに関する文言修正/参考ナンバリング、Web設定変更サイトについて追加
2023/02	2.6版	Direct Calling管理用ユーザーライセンス表記修正/プロキシ設定留意点修正
2023/04	2.7版	参考10. ID変更・サービスご解約Webお申し込みについて修正/PHS文言削除
2023/07	2.8版	管理用ユーザー⇒Direct Calling管理用ユーザーに修正 共通エリア電話（Common Area Phone）ライセンス⇒Microsoft Teams 共有デバイス ライセンス に修正 参考3 時報の提供時期修正 参考6 コマンド一覧更新 参考10 FAQ 通話録音自動テキスト化機能申込不可の旨追記
2024/02	2.9版	国際FD終了に伴う文言修正
2024/07	3.0版	お申し込みから開通までの営業日数変更に伴う修正、GDAP承認依頼メールフロー追加、No Teamsライセンス追記
2024/08	3.1版	Teamsなしライセンス表記に修正
2024/09	3.2版	GDAP承認依頼メール作業 注意事項追記
2024/10	3.3版	管理用ユーザーの条件を修正 2-⑧ GDAP解除方法追記 参考13.Direct Calling管理用ユーザーの管理者ロールについて 参考14.GDAP承認依頼メールキャプチャ修正 参考15. GDAP解除方法 追加

改訂履歴

2025/1 3.4版 FDNDの発信可能な番号帯を修正
2025/2 3.5版 GDAPの期限切れに関する対応について追記